



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2011.

Vol.13
終刊号



福田 一良 ガバナー事務所

〒371-0026

群馬県前橋市大手町 1-11-3

TEL 027-243-2840

FAX 027-220-5183

E-mail fukuda@rid2840.jp

ホームページアドレス

<http://www.rid2840.jp>



鯉と睡蓮 photographer 前橋西ロータリークラブ 岩内 省三

お知らせ

只今ホームページに掲載中です 詳細はホームページをご覧ください

<http://www.rid2840.jp>

第2840地区 2011-2012年度

恒久基金寄付に関する変更事項のお知らせ

ロータリー財団委員 委員長 高木 貞一郎

寄付送金明細書記入方法 寄付送金明細書

上記特集はホームページ上の「事務所からのお知らせ」にも掲載しております。明細書はダウンロードしてご利用頂けます。

震災特集

第2840地区 東日本大震災義援金報告

(2011年6月17日現在)

上記特集はホームページ上の「東日本大震災関連」にも掲載しておりますので、そちらのサイトもご覧ください。

CONTENTS

表紙/お知らせ	1	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー報告	46
2010-2011年度ガバナーメッセージ 福田 一良	2-3	地区協議会報告	47
地区幹事だより	4	恒久基金寄付に関する変更事項のお知らせ	48-52
地区会計長より	5	各クラブの広報活動報告	53-64
各分区活動報告	6-18	第2840地区 東日本大震災義援金報告	65
委員会活動報告	19-45	ガバナースタッフより	66-70


**ガバナーメッセージ
ご協力に感謝**


国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

ガバナー 福田 一良



2010-2011年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナー月信も最終版となりました。

振り返りますと2009年6月、2010-2011年度の「ガバナー・ノミニー」の指名を受けました。私にとって正に晴天の霹靂ともいふべき大事件でした。以来、私の力量を遥かに超える重責を背負うことになりましたが、直面した数々の出来事が今、走馬灯のように脳裏を駆け巡っております。その任務も無事終了いたします。ありがとうございました。

この一年に亘る地区運営を大過なく遂行できましたのも、パスト・ガバナー皆様による適切なご指導と、地区役員諸氏のご尽力をはじめ、地区内外のロータリアンのご理解とご協力の賜と感謝いたしております。

2010-2011年度 国際ロータリー 会長レイ・クリンギンスミス氏は「地域を育み、大陸をつなぐ」をテーマに掲げました。これは昨今ロータリー活動がマンネリズムに陥っていることに対する警鐘であり、小手先の改善(reform)ではなく、意識改革(innovation)が絶対的に必要との示唆であります。私はこの主張に全面的に賛同し、行動方針として次の5項目を提唱しました。感性を磨き、誠実且つ簡潔に、そしてロータリアンが結束し迅速に事に当たること。このことをガバナー事務所スタッフをはじめ、地区運営に関わる各委員会役員の皆様、更に当地区のロータリアン全員に心掛けていただき、自由でより活発な活動をしていただくことをお願いしてまいりました。

地域に集う我々職業人は「世の中に役に立つ」こと。それは当然の義務であり、喜びであります。私たちはこれを活動の中心テーマに掲げてまいりましたが、3月11日の大震災により残念ながら不十分な結果、或いは積み残しに終わったものもありました。唯、一方では被災者、被災地に対して内外のロータリアンから素早い救援、支援活動が展開され、ロータリーの底力を発揮いたしました。私はここに、ロータリーの前途に力強い再生の気配を感じました。ロータリーってすばらしい。

いよいよ安藤年度のスタートです。2010-2013年度の「国際ロータリー長期計画」の運営。2013-2014年度から新補助金モデルが導入される「ロータリー財団の未来の夢計画」。そしてRLI、「ロータリーリーダーシップ研究会」の採用等、課題が山積みです。安藤年度の優秀なスタッフにより、地区そして47RCにこれら課題を軟着陸させられますよう期待いたします。地区の一層のご発展を祈念すると共に、今後も微力を尽くしてお力添えしますことをお約束し、私のガバナ一月信最後のメッセージといたします。以上

直面する日本のロータリー

急激に減少する日本のロータリアンの数。そして消滅するクラブ。その要因は何か。明確である。社会がロータリーに期待するものがないからだ。と言うよう、ロータリーの名前は知っていても、それがどのような団体なのか、ロータリアンが何をしているのか殆ど知られず、知ろうともしない。それは一般社会に責任はなく、その責任をロータリアンが一身に背負わなければならない。

よく「ロータリーよ どこへ行く」と言われる。とんでもない。ロータリーはどこへも行かない。確固たる哲学があるからだ。どこへ行くか分からないのはロータリアン自身である。緊張感のない、惰性で進行する例会。崇高なロータリーの心を学ぼうとしないロータリアン。ロータリーは向こうからやって来ない。こちらから寄っていかなければ、扉は開かれない。その扉をノックする気持ちもない、怠惰のロータリアン。

謙虚になって、原点に戻ろう。「原点に帰れ」とはよく聞く言葉だ。しかし帰るべき原点はどこにあるのか。それさえ知らずして、どうやってそこへ到着できるのか。今、日本のロータリーは本流から外れ、末期的な状況になっている。それを回避し、ロータリーが発生した初期のロータリーの心に戻り、本来の軌道に戻るには日本のロータリーはもっと謙虚にならなければならない。

特権階級的な意識を捨てよ。バッジと背広で自己を飾る幼児的な行為は、ロータリー精神と異なる。ロータリーの心は極めて身近にあるとも言え、遙か遠くにかすむ所にあるとも言えよう。

身近な存在に出来るのは自分しか居ない。意識改革をしてそれこそ原点に戻ろう。それなくして明日のロータリーはない。

「ロータリアンは意識改革を 進歩無き、惰性のロータリーを反省せよ」

※参考文献：小野 哲 PG（紋別港 RC） 「ロータリーは遠きの輝き」より抜粋

地区幹事だより
一年を振り返って



国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

幹事 町田 庄吉



奉仕馬鹿 メインで我を和ませり

最終年度挨拶文をという事で、気紛れに川柳に挑戦してみました。付け焼刃の作である。この様に福田年度はスタッフ全員ノミニー期間もなく、慌ただしく準備不足で（地区運営知識不足）で始まったのです。

組織表、主要行事一覧表、公式訪問日程表をパソコンのエクセルを急遽学んで作り上げました。

公式訪問は、一部合同クラブ訪問をお願いし、しかも例年になく幹事も同行させて頂きましたが、47ロータリークラブの会員の皆様に温かく迎え入れて頂き、又、多くの地区行事には、全会員の皆様のご協力を頂戴しました。心から感謝とお礼を申し上げます。

胸をワクワクさせたスタート時の人との出会い、最初はベテラン揃いのガバナー補佐、各委員長の方々。ガバナー補佐の皆様には最後の最後まで、お骨折り頂きました。

地区協、地区大会、そして各種の研修セミナー。これらの一つ一つの行事は、少しでもクラブの出費を減らそう、会員の為に成るような内容にと検討奮闘いたしました。その事に情熱を注ぎ、幾多の時間を割いて頑張った副幹事の皆様には、心から感謝の思いで一杯です。表題の川柳は、この時の事を詠ったものです。

ロータリー大好きで、ロータリーの事は非常に詳しい福田ガバナーは、クラブや会員、外部団体等の課題に対しても真摯に情熱的に取り組む活動家で、実務は大変助けられロータリアンとしての成長を私に与えて下さいました。ありがとうございます。

最後に改めて思う事は、ロータリークラブの組織は素晴らしく、会員は種々の職業人の集まりで、考え方も多種多様で非常に刺激になりました。このロータリークラブの会員として楽しく活動するか、つまらなくするかは、自分の意思のみである事を振り返り反省する今日です。



地区会計長より

一年を振り返って

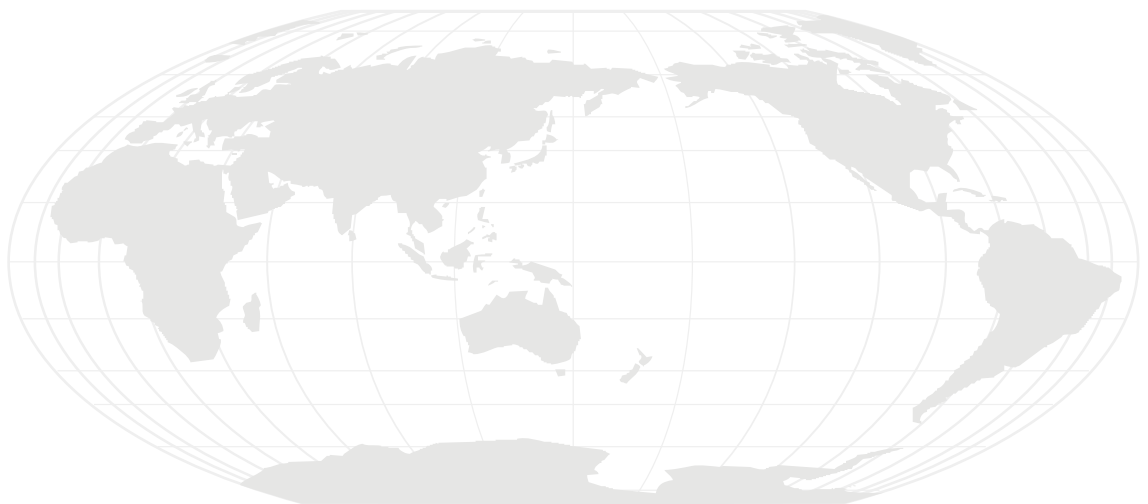


国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区会計長 栗原 治郎

今年度、会計長を仰せつかりまして大変身の引締る一年でありました。

幸い、ガバナーをはじめスタッフ一同の温かいご指導、ご協力を頂きまして大過なく務めを果たすことが出来ました次第です。この一年間誠に有難うございました。





第2840地区 2010-2011年度

第1分区 年間活動報告

第1分区 ガバナー補佐
相澤 克也
前橋東ロータリークラブ

《地域を育み、大陸をつなぐ》をレイ・クリンギンスミス RI 会長のテーマは世界中のロータリアンが地域の人々と手を携えて健全な社会の構築と発展を目指すと同時に、未だ深く横たわる大陸間の格差の解消、延いては国際平和お実現に向けたメッセージをまた、福田ガバナーは 10 月に開催した地区大会では "世の中の役に立とうと" いたしました。

不肖、小生はこの年度の第一分区のガバナーアシスタントを拝命しこの 1 年間ガバナー事務局のスタッフ皆様の足を引っ張りながらも町田地区幹事のおよきご指導を賜りながらどうにか終わらせる事は感謝に耐えません。

AG としての不安な心構えと義務感を持ちながらも、ガバナーと地区内クラブとの連絡調整役として地区内、会長幹事さん達にも本紙をお借りし、御礼を申し上げます。

因みにこの 1 年間の活動報告を月別に羅列して報告とします。

2010,

- 02 月、地区役員研修セミナー
- 03、 次年度会長セミナー、次年度幹事セミナー
- 04、 地区協議会打ち合わせ会、米山カウンセラーセミナー
- 05、 久保田年度地区協議会
- 06、 ガバナー補佐会議、地区新旧スタッフ会議、会員増強セミナー
- 07、 ガバナー補佐会議、ガバナー事務所固定化会議
- 08、 第一回分区内表敬訪問、前橋、同西、同東、同北、同南、同中央の 6 クラブ
ガバナー補佐会議、第一分区プロバスケットボール総会、1 年交換学生オリエンテーション、
地区内広報委員会、地区財団セミナー
- 09、 地区 5 大奉仕セミナー、第 2 回分区内会長幹事会、米山奨学委員会記念館訪問
1 年留学生歓送迎会、地区内クラブ事前訪問 前橋東、前橋中央
- 10、 地区内クラブ事前訪問 前橋クラブ、前橋南クラブ、
次年度ガバナー補佐&広報委員推薦依頼あり。
福田年度地区大会

- 11、 地区内クラブ事前訪問 前橋西クラブ、前橋北クラブ
第一分区合同学校フェスタ開催、第3回分区内会長幹事会、
公式訪問随行、前橋北&南クラブ訪問、前橋クラブ訪問、
- 12、 公式訪問随行、前橋東&前橋中央クラブ訪問、前橋西クラブ訪問
米山奨学生クリスマス会、第一分区研修セミナー

2011

- 01月、ガバナー補佐新年会
- 02、 青少年交換学生オリエンテーション
- 03、 第4回会長幹事会 不参加となる
- 04、 第4回目分区内表敬メイク前橋、西、東、南、北、中央各クラブ
臨時会長幹事会、地区1年留学生セミナー
- 05、 第6回新旧会長幹事会、
- 06、 新旧地区役員、ガバナー補佐、委員長合同会議予定

以上の通り組織強化と会員増強、退会防止、広報、財団、米山、青少年交換、IA、RA 等各委員会には大したお役に立てなかったかと反省もありますが私なりに精一杯のご奉公をさせていただいたかと、不行届きの点多々あろうかと存じますがロータリーの友情にお許しを願う次第です。

特に地区大会での教育フェア、私の街の宝物を、後世に伝えよう絵画展は小中学生の作品展示の事業では入賞、佳作、など関係なく、応募作品が全て展示され、たまたま見受けたお子様の家族のご両親、姉妹の妹さんが おねーちゃん、すごいねと言っていたその喜びを親子達の姿を眼のあたりに接した時の感動は今も忘れません。これが本当に地域のお役に立った事業のお手伝いが出来た私の喜びでもあります。

分区内合同事業の学校フェスタも汗を流すロータリアンを地域の方々に再認識いただいた素晴らしい事業と喜んでいきます。

任期終了にあたり素晴らしいロータリー活動を与えていただいたこの1年に感謝を申し上げます。有難うございました。



第2840地区 2010-2011年度

第2分区A 年間活動報告

第2分区A ガバナー補佐
川堀 良治
桐生南ロータリークラブ

2009年12月開催の第一回ガバナー補佐研修会を皮切りに福田年度が本格的にスタートしたのを今思い出しております。地区への出向が長きに渡り殆どの方を存じ上げておりました関係で、比較的気楽にスタートする事が出来ました。牛久保年度では管理運営委員長及び地区研修委員を仰せつかって居りましたので、ガバナー補佐で有りながら福田年度のガバナー補佐大先輩を前に、ガバナー補佐に対する研修も実施する貴重な経験させて戴きました。この1年余りの間にパワーポイントを使用して相当数の研修資料を作成し、様々な場面で活用させて戴き私自身も大変勉強をさせて戴きました。福田年度の公式訪問は例年と違って若干遅く予定されましたので、事前のクラブ訪問も比較的のんびりとこなす事が出来ました。

第二分区Aの5クラブの会長幹事は皆様温厚な方ばかりで、頼り無い私を常に支援して下さい、有難く御礼申し上げます。地域に密着したロータリーを目指し、毎年桐生クラブで支援していた群馬大学工学部クラシックカーフェスティバルを第二分区A5クラブ共同でサポート致しました。今年は故吉田茂首相が使用していた車も展示され県内はもとより県外からも多くの観光客を誘致する事が出来ました。学内展示のみならずラリーも同時開催され、こちらもチェックポイントでロータリアンが活躍致しました。今後桐生市にとり観光客誘致の大きな一助と成ると確信しております。福田年度以降は5クラブ協力した継続行事として続けられる事と思います。群馬大学工学部とは長い御付き合いが有り、毎年開催している留学生交流会も盛況の内に開催する事が出来ました。下半期に成り、後は寝て待ての状態かと考えていた矢先に東北地区で未曾有の災害が発生し、桐生みどり両市にも被災者が数百人疎開生活を強いられており、この方達の支援も継続する必要性が出て来ると思います。寝ている場合では無く成ってしまいました。地区青少年交換委員会の交換学生も折角日本に留学して楽しい高校生活を送っている所に今回の原発事故で早期帰国せざるを得ない状況と成り、本当に可哀そうな思いをさせてしまいました。又、桐生南ロータリークラブの姉妹クラブで有る、台湾新莊市の新泰ロータリークラブからは二百七十万円もの義捐金を送って戴き、桐生南ロータリークラブの理事役員会で協議の結果、様々な方面で活用して戴く様桐生市長に寄付を致しました所、桐生南ロータリークラブと新泰ロータリークラブに対して心のこもった感謝状を頂戴しました。早速お礼状と共に新泰クラブに郵送致しました。

下半期も例年以上の忙しさに加えて、桐生西ロータリークラブの片貝会長が入院されるなどアクシデントも御座いましたが、何とか恙無く職務を全うする事が出来ました。これもひとえに第二分区A5クラブ並びに他の分区のガバナー補佐や地区幹事、特に気さくな福田ガバナーの御蔭で有ったと思います。役立たずのガバナー補佐では有りましたが私的には大変素晴らしい経験をさせて戴きました。一年間誠に有難う御座いました。



第2840地区 2010-2011年度

第2分区B 年間活動報告

第2分区B ガバナー補佐
是澤 久正
 伊勢崎南ロータリークラブ

1. 2010年～2011年度地区活動目標及び経過

① RI レイ・クリングスミス会長の今年度テーマである『地域を育み、大陸をつなぐ』の主旨を第一回の各クラブ訪問で説明し、クラブ活動の活性化を依頼する。

7月26日(月)	伊勢崎東ロータリークラブ	伊勢崎プリオパレス
27日(火)	伊勢崎南ロータリークラブ	プラザアリア
28日(水)	伊勢崎ロータリークラブ	クレインパーク山楽荘
29日(木)	伊勢崎中央ロータリークラブ	ニューいづみ
8月5日(木)	群馬境ロータリークラブ	群馬銀行境支店

② 各クラブ会長・幹事・理事との打ち合せ事項

- イ. ガバナー訪問時の行事の進め方
- ロ. 福田ガバナーの活動方針照会
- ハ. 現状報告書。効果的なロータリークラブ活動計画指標の作成提出
- ニ. 会員増強と退会者防止
- ホ. ロータリー財団 1人 100ドル及び米山記念奨学金への理解と協力及び目標達成
- ヘ. 東日本大震災への義援金協力 1人 1万円以上

2. 福田ガバナー公式訪問実施

① 日程

9月1日(水)	伊勢崎ロータリークラブ	クレインパーク山楽荘
2日(木)	伊勢崎中央ロータリークラブ	ニューいづみ
6日(月)	伊勢崎東ロータリークラブ	伊勢崎プリオパレス
7日(火)	伊勢崎南ロータリークラブ	プラザアリア
9日(木)	群馬境ロータリークラブ	群馬銀行境支店

以上

 第2840地区 2010-2011年度
第3分区 年間活動報告

第3分区 ガバナー補佐
羽鳥 修司
高崎ロータリークラブ

RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」、地区テーマ「世の中の役に立とう」を大前提として、福田一良ガバナーのもと09/12/06より我々八人の補佐の訓練が始まりました。

私以外の方々は、地区の経験も豊富でロータリーに精通した人ばかりで自信に満ちた顔に感じられ、果たしてこの人たちに付いて行けるだろうかと不安に駆られました。

「高崎クラブ」と比較的歴史のあるところで、親子二代で会長はしたものの、地区への出向歴ゼロ、いきなり「ガバナー補佐」ですから「身の程知らず」と言われても仕方ありません。それでもガバナーはじめ幹事、副幹事のご教育のおかげで何とか「にわか補佐予定者」としてスタート致しました。

福田年度に入る前に一月から「補佐予定者会議」「各種研修セミナー」（ペッツ、セッツを含む）と「地区協議会」まで何が何だかよく分からないうちに過ぎてしまいました。年度に入ると「補佐会議」はもちろんのこと「各種委員会」にも呼ばれます。このころになると、皆さんのご指導のおかげで補佐としての自覚を持てたような気がして参りました。

十月の地区大会も大成功に終わり、今度は私の分区の「公式訪問」です。私の担当する第三分区は高崎市内の六クラブで、クラブ訪問の距離、時間とも余裕がありましたが、今年度福田ガバナーの方針で「公式訪問」をニクラブ合同で開催するところが有り、そのクラブ同士の調整に手間がかかりました。各クラブの訪問は公式訪問までに三度ほどでしたが、分区の「会長幹事会」を余分に開いてもらい「合同の公式訪問」に備えました。その甲斐もあってか11月15日から18日までの四日間で、ニクラブ合同二回、単独クラブ二回と無事終了することが出来ました。特にニクラブ合同の公式訪問を経験された「南クラブ」「シンフォニークラブ」「北クラブ」「セントラルクラブ」のチームワークには感謝致します。

第三分区ではここ数年、複数クラブの合同例会が盛んに行われており、その成果も多分にあると思います。このことは地区の「重点目標」である「クラブ合同プロジェクトを推進しよう」に繋がるのではないのでしょうか。分区内それぞれのクラブが独自の活動、運動を推進しております。それは「現況報告書」や「公式訪問」時に各クラブの会長、役員から福田ガバナーに伝えられたと思いますが、その上に地区の「重点目標」もほぼ達成できましたことは、ガバナーの熱意が我第三分区に浸透した結果だと考えます。

「公式訪問」も終わり私の役目も次年度の補佐予定者への引き継ぎだけかなと気を抜いたところへ、ガバナーから「ロータリーリーダーシップ研究会」(RLI)をやいなさいと命令が参りました。

すでに第一分区では「クラブ研修セミナー」と称して実験済ということでした。第三分区での幹事クラブも「高崎南クラブ」と決められていましたので、会長幹事会で相談の結果、まず南クラブで試験的に実行してもらってその後分区全体で考えようということになりました。南クラブの「クラブ研修セミナー」を拝見し、なるほど「リーダー」を育てるには最適なプログラムがあるものだと関心し、私の任期中に実行しなくてはと計画を立て始めました。

そんなところに3.11「東日本大震災」です。残念ながら「RLI」計画は中止せざるを得ません。次年度に託すことに致しました。

ロータリーに限らず「義援金」運動やボランティア活動に目を向けなくてはなりません。このような「天災」の起きた時期に、ロータリアンとして居合わせたことは、次年度だけでなく今後のロータリークラブの活動について考え、勉強すべき機会として捉えたいと思います。

最後に私に「補佐」の引き継ぎも出来ず、急逝してしまった前第三分区ガバナー補佐「田島五郎君」(私と同級生で、4月12日が一周忌でした)の冥福を大震災の犠牲者とともに祈り致しまして今年度の報告とさせて戴きます。



第2840地区 2010-2011年度

第4分区A 年間活動報告

第4分区A ガバナー補佐
清水 親男
太田南ロータリークラブ

平成 21 年 12 月 6 日ヘルシーパル赤城で行なわれたガバナー補佐予定者懇談会から帰り 12 月下旬に次年度の会長・幹事会を開いた。そこで次年度（福田ガバナー年度）の地区強調事項等について話し合い、その実現に向けてのそれぞれの、決意・気構え等確認した。

平成 22 年 3 月 13 日（土）14 日（日）の両日伊香保温泉福一で開催された会長エレクト研修セミナーで、次期のガバナーより学習し、地区目標への更なる意欲が高まった。

さて、7 月、新年度がスタートした解けですが、我々がガバナー補佐に課せられたのは、年 4 回のクラブ訪問です。その第一回目のクラブ訪問に、他のクラブの会長・幹事さんが合わせてメークしてくれました。私からは地区の強調事項等について話し、何か自分の年度の決意表明のような予期せぬ方向に展開いたしました。まったくうれしい誤算でした。

各クラブの会長・幹事さんが、競って努力してくれればクラブが活性化する。そんな期待が致しました。

さて、4 回のクラブ訪問で感じた私の印象ですが、地区大会のクラブ紹介の「ワンフレーズ」に込められていたような気が致します。

太田RC(改革そして前進を今年度のスローガンに一致団結して疾走する)

太田西RC(会員一人一情報)

太田南RC(ユーモアとチームワーク)

新田RC(新田義貞公の心意気)

太田中央RC(若き血 燃ゆる集団)

以上良くも悪くもこの言葉から推察できそうです。

さて、3 月 11 日 2 時 46 分の大地震で世の中全てが自粛・自粛の閉塞感に支配されました。ロータリーとしても例外ではなく、恒例の花見も中止され、選挙さえもひっそり自粛ムード。そんな世の中の風潮に震災から一月が経った 4 月 11 日の読売新聞の編集手帳に自粛が行き過ぎ社会の活力が失われてしまっは復興が遠くなるばかりだ。この主張に同感したので、最後のクラブ訪問ではその全文を読み上げた。

打てば響いてくれたのだろうか、太田RCでは被災地の酒・食材を使っの夜間例会を企画し、他のRCの会員にも参加を呼びかけた。楽しく達成感のある、ひと時でした。



第2840地区 2010-2011年度

第4分区B 年間活動報告

第4分区B ガバナー補佐
川生 宏
館林ミレニアムロータリークラブ

私は5年前の曾我 ガバナー年度以来、2度目のガバナー補佐を囑託されました。

前回の地区運営との大きな違いは各クラブの自主性が大変大きく強調されたことです。福田ガバナーは「地区の行動指針」で「過去に決められたものを守ることばかりに固執すると、それが衰退を招く、ロータリーの綱領と理念が曲げなければ、規則や活動ルールの変更を恐れてはならない」と述べられました。

久しぶりに参加したPETSでは講師、安平和彦氏は推奨クラブ細則はあくまでも推奨であると各クラブでの独自のクラブ細則の制定すら強調されました。

地区協では講師の小沢一彦氏は「クラブが変わらなければ地区は変わらない」とクラブの自主性を主張されました。

また福田ガバナーは会員増強に関して、「あの人のいるロータリーに入り、あの人のようになりたい」そう思われるクラブのありかたを論じました。会員増強セミナーで講師の杉谷卓紀氏は良いクラブとは簡単に入会出来ない厳しさを持つクラブで「選ばれし者」としての誇りと厳しさを、ノーブレス・オブリージを絶叫されました。このようなガバナーのご意思を担当するクラブを訪問し伝えてきました。

また前の石井ガバナー補佐のやり残したDDF事業の延長として5クラブ合同でフィリピンへの支援事業を行いました。東日本大震災の影響で贈呈式には残念ながら行けなかったのですが、5クラブが共同で奉仕活動をしたことの意味は大きかったと思っています。

また今年度は各クラブが年に一度、5クラブ合同例会の開催をお願いしました。

第1回目は館林ミレニアムロータリークラブが担当し、元海上自衛隊幕僚長の「中国による日本海進出」と題しての講演でした。その2週間後に中国の漁船の体当たり事件が発生し、まさに時機に即した講演でした。

2 回目は館林東ロータリークラブが担当で、市内野鳥の会による「館林の野鳥たち」のスライドを使ってのお話でした。こんなに沢山の野鳥がいるとは皆大変驚き、心和む例会でした。

3 回目は館林ロータリークラブが担当し、高木 PG による「ロータリー財団米山記念奨学会」の講演でした。各クラブが米山奨学生のホストクラブでもあり、大変関心の高い例会でした。

そして 4 回目がロータリー創立記念日に当たり大泉ロータリークラブが担当し、森田 PG による講演会でした。「会員増強は手段か目的か」と問う意義深い例会でした。

残念なことに館林西ロータリークラブによる創立 40 周年記念例会と兼ねた合同例会は東日本 大震災によって中止となりましたが、それぞれのクラブの企画による例会とその後の懇親会は第 4 分区 B のロータリアンの友情と価値観を共有できたと思っております。

福田 ガバナーそして町田幹事をはじめ、ガバナースタッフの皆さん、同期ガバナー補佐の皆さんに心から感謝いたします。そして第 4 分区 B のクラブ会長、幹事及び会員の皆さん方に心より感謝申し上げます。



第2840地区 2010-2011年度

第5分区 年間活動報告

第5分区 ガバナー補佐
佐藤 徳三
渋川みどりロータリークラブ

福田ガバナー事務所より12月6～7日、渋川市赤城町「ヘルシーパル赤城」にて第1回ガバナー補佐会議の開催の通知を頂きました。第5分区のガバナー補佐として、この大役が私に務まるか、緊張と不安の中で出席しました。

福田一良ガバナー、地区役員、各分区のガバナー補佐と初めて顔を合えました。補佐会議や地区委員会と合同会議を重ねて、ガバナー補佐としての不安も和らぎました。

3月のPETSとSETS会議にて第5分区の7RC会長・幹事さんに初めてお会いし、2010～2011年度の2840地区の組織、運営方針、第5分区の7RCの会長より活動計画と指標を伺いました。その中で福田年度は、公式訪問は合同と単独例会での開催との事なので、公式訪問合同例会タイムスケジュール案を作成し、7RCに配布し統一した例会を行いました。

地区強調事項の数値目標(1～5)を達成出来るよう、各クラブ訪問と3回の会長幹事会議の時に、47のRCの中での出席率の順位、会員数の発表、また小規模クラブの会員増加(みなかみRC7～10名)を各クラブに支援協力をお願いしました。

第5分区 福田一良ガバナーと町田幹事公式訪問が9月28日～10月21日を最後に無事終了致しました。公式訪問中は、福田ガバナーの各クラブの状況を熟視する姿、また、ロータリーを想う熱意とご指導に、各クラブの会員一同、深く感銘を受けたと確信致しました。また、例会後のガバナー懇親会で同様に各幹事クラブも心温まる雰囲気の中で無事行う事が出来ました。感謝しています。

今年度のテーマ「地域を育み大陸をつなぐ」「世の中の役に立とう」は奉仕、親睦、職業につながると思い、本来ロータリーは社会の変化の先に行くことが望まれていると思い、「発明家になるための5カ条」をつくり、第5分区7RC訪問時に講演しました。また、会長幹事の会議には、「特許情報活用支援」との演題で、群馬県知的所有権センターの神林賢蔵氏と、「産学官の近年の状況」との演題で、(財)群馬県産業支援機構の飯塚登志氏2名に講演をして頂きました。

10月26日には、100名出席で第5分区7RC合同研修及び懇親会を開催し、福田ガバナー、安藤ガバナーエレクトに挨拶を頂き、7RCの各会長より現存の数値目標の発表をして頂きました。

また、2011～2012年度安藤ガバナー年度の第5分区ガバナー補佐予定者に草津RCの飯島啓一氏が決まりました。講演には、「世界の水環境」を演題に、群馬工業高等専門学校 特命教授 小島 昭氏にお願いをしました。

3月11日14時46分に発生した東日本大地震により、第5分区では4月2日の新旧会長幹事合同研修会を中止する事となりました。観光宿泊施設などでは、キャンセルが相次ぎ、会員の退会者、そしてクラブの存続も論議されましたが、福田ガバナー・町田幹事・各会長幹事・各クラブ・会員の努力により退会を防ぐことが出来、年度初めと比較して増減0の269名です。数値目標は厳しいクラブもあるが、努力して頂き、感謝申し上げます。

福田ガバナーを始め、地区各役員、第5分区の会長幹事の方々には、ご支援・ご指導を頂き、大変お世話になりましたことを感謝申し上げます。

ガバナー補佐としてお陰様で貴重で有意義な1年を過ごさせて頂きまして有難うございました。

 第2840地区 2010-2011年度
第6分区 年間活動報告

第6分区ガバナー補佐
大手 雅晶
碓氷安中ロータリークラブ

2010年3月の会長エレクト研修や幹事エレクト研修及び6月までの会長・幹事会などに置いて、国際ロータリー第2840地区福田一良ガバナーの今年度の地区目標、数値目標等の達成についての確認と協力の依頼を行う。

第6分区においては各クラブとも会員増強を積極的に行い、又その他の奉仕活動に付いても其れなりの成果を上げる事が出来たと思う。

各クラブの主な事業と奉仕活動

富岡ロータリークラブ

富岡夏祭り協賛・花火大会大支援・オリジナル七夕装飾支援・富岡製糸場敷地の除草作業
東富岡公民館のスクールバス待合室への電波時計、待合用ベンチの寄贈
第3880地区フィリピン共和国マニラ市孤児院経済支援共同事業・及び寄付

藤岡ロータリークラブ

市民夏期大学講座後援・藤岡多野少年野球大会協賛・藤岡ローターアクト(ららん藤岡側道清掃活動)参加
関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会協賛・少年少女合唱団
群馬県フェスティバル主催・桜山俳句大会協賛・子供フェスティバル協賛
藤岡RC杯ミニバスケットボール大会協賛・等 その他各項目義援及び寄付

安中ロータリークラブ

1年交換学生 関奈央美さん、ニューヨーク7170地区へ派遣・友好クラブ新発田中央RCとの交流
チョコラコンペ開催・ミュージカル ファントム オペラ座の怪人 公演

藤岡北ロータリークラブ

米山奨学生 受入とカウンセラー・新町駅前清掃活動 年2回・地元少年野球及び・少年サッカー後援

富岡中央ロータリークラブ

富岡夏祭りにて NPO 法人富岡製糸場を愛する会に協力して紙芝居『赤レンガ物語』を上演、復興支援さくらプロジェクトに紙芝居『赤レンガ物語』を上演

災害支援ボランティア（宮城県多賀城市被災地区）に富岡中央 RC として参加

丹生湖水環境保全事業を富岡市観光課、環境課、及び丹生の他団体の協力のもとに開催

碓氷安中ロータリークラブ

中山道安中杉並木周辺の定期的清掃・地区少年野球及び少女ソフトの後援

安中 JC 主催「おもいで祭り」協賛・模擬店・侍マラソン後援（震災の為に中止）

藤岡南ロータリークラブ

カンボジア国シェムリアップ地区 井戸修理プロジェクト 2010・9～2011・3

各村の壊れた井戸を修理して、貧しい人々に安全な水を提供

「創立10周年事業」カンボジア国アンチャンニ小学校教育環境整備事業

小学校の壊れた食堂とトイレを新築し、水道設備工事、校舎の整備

2010・10～2010・12・30 贈呈式

2010・11・9 会員5名訪問

関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会協賛・子供フェスティバル協賛

第9回藤岡南 RC 杯 U-10 少年サッカー大会 烏川緑地サッカー場他3会場

被災地岩手県山田地区を支援（ソーラーライト30万分支援輸送・U-10 サッカー大会

使用ボールと義援金・支援物資輸送 その他 ロータリー関係寄付及び支援等

富岡かぶらロータリークラブ

富岡夏まつり協賛及び支援・自クラブの花菜園で収穫した野菜及び芋等を各幼稚園に寄贈している、富岡市国際交流まつりにて災害募金活動を行う。

その他 幼稚園はじめ・インドネシア植林・ハイチ地震・ニュージーランド地震・夏祭り

ポリオ活動・等の支援及びロータリー関連の寄付及び義援

 第2840地区 2010-2011年度
ロータリーの友地区委員活動報告

地区代表委員 保坂 充勇 (沼田RC)

会合出席報告

2010年

2月14日(日)	地区チーム研修セミナー	群馬会館
5月9日(日)	地区協議会	ロイヤルチェスター
5月10日(月)	ロータリーの友オリエンテーション	メルパルク東京
7月1日(木)	ロータリーの友委員会	グランドプリンスホテル高輪
9月21日(火)	ロータリーの友委員会ゾーン会議	メルパルク東京
10月10日(日)	RI 2840 地区大会	ベイシア文化ホール

2011年

2月14日(月)	ロータリーの友委員会	メルパルク東京
3月9日(月)	ロータリーの友委員会合同会議	震災に付中止
4月14日(木)	渋川RC地区友委員雑誌月間卓話	前橋アルバート邸
4月20日(水)	前橋南RC地区友委員雑誌月間卓話	前橋ホテル
4月28日(木)	太田RC地区友委員雑誌月間卓話	ロイヤルチェスター太田

「ロータリーの友」誌掲載記録

2010年

7月号	柳 壇	高崎RC 豊泉 清さん
	言いたい聞きたい「地区協議会に参加して」	大泉RC 川島健一さん
	ロータリーアットワーク	
	「100%出席例会達成」	高崎RC
	「卓話集を発刊」	桐生南RC
	ガバナー紹介	第2840地区 福田一良ガバナー
8月号	ガバナー自慢	太田RC
	ロータリーアットワーク	
	「沼と語ろう」	館林ミレニアムRC
	「いずみ緑道の清掃」	大泉RC
	「市民交流チャリティーコンサート」	桐生RC

9月号	なし	
10月号	この人、この仕事 卓話の泉「金型とは」	群馬境 RC 布施光一さん 館林 RC 野辺昌弘さん
11月号	ロータリーアットワーク 「猛暑でよさこいソーラン」 柳 壇	館林ミレニアム RC 伊勢崎 RC 秋山春海さん 高崎東 RC 豊島 清さん
12月号	バナー自慢 ロータリーアットワーク 「地域活性の一助に」 「ポリオ撲滅の募金活動」 地区大会略報	渋川みどり RC 富岡 RC 富岡かぶら RC 第 2840 地区
2011 年		
1月号	「日本の心」(第 2840 地区大会記念講演)	松田昌士先生
2月号	柳 壇	伊勢崎 RC 秋山春海さん
3月号	バナー自慢 ロータリーアットワーク 「クラシックカーフェスティバル in 桐生を支援」 視点 ガバナーのページ	群馬境 RC 第 2840 地区第 2 分区 A 外 第 2840 地区 福田一良ガバナー
4月号	「事業を継承する難しさ」	桐生中央 RC 酒井豊さん
5月号	柳 壇 友愛の広場「ロータリーの友に感謝」 「ポリオ撲滅は本当に可能か」(弘前 RC 関場慶博さん)の記事の中に、ポリオ投与に参加した当地区メンバー 3 人の写真掲載有り。	伊勢崎 RC 秋山春海さん 前橋東 RC 馬場誠さん
6月号	バナー自慢 「クラブの歴史に関われたことに感謝」(第 2560 地区(新潟)新発田 RC 小野寺真夫さん)の記事に、沼田 RC との友好クラブ締結に関する記事が掲載。	富岡かぶら RC

以上のように、私が思っているよりも多くのご投稿をいただき、「ロータリーの友」に掲載されました。ご協力ありがとうございました。ロータリーの友は読めば、なかなかおもしろいのですが、「義務」と言われると読みたくなくなるのは、人の常だと思います。でも自分で投稿したりして、紙面に掲載されたりすると、「友」に対する見方が変わってくると思います。是非、「友」と遊んでやってほしいと思います。

震災後、人々の考え方が、より本質的なものを重視するようになったと感じております。ロータリーの奉仕に対する考え方も人により様々ですので、奉仕活動に関するご意見や、地区内各クラブの元気な活動状況等をご投稿していただき、今後ますます紙面を賑わせていただければ幸いです。



第2840地区 2010-2011年度

会員組織強化委員会活動報告

委員長	松倉 紘洋	(富岡RC)
委員	相澤 克也	(前橋東RC)
委員	川堀 良治	(桐生南RC)
委員	是澤 久正	(伊勢崎南RC)
委員	羽鳥 修司	(高崎RC)
委員	清水 親男	(太田南RC)
委員	川生 宏	(館林ミニアムRC)
委員	佐藤 徳三	(渋川みどりRC)
委員	大手 雅晶	(碓井安中RC)
地区担当副幹事	千木良 芳明	(前橋西RC)

福田年度の公式行事もほぼ終え、会長幹事さんも本格的に自クラブの活動に力を注いでいる折、東日本大震災という未曾有の大災害が発生。「大地震」「大津波」そして「原発」の三重苦に日本中が震撼させられ、その影響は計り知れず、その復興に国を挙げてのあらゆる支援と長い歳月と苦難の道程がありましよう。

当委員会は、ガバナー補佐が委員として、ガバナーより全国のロータリーの支援情報をもとに、被災地区の支援、そして被災地のロータリークラブ、会員に対する支援等を各クラブに伝達してまいります。

“会員組織強化”ということから、増強はもちろんですが、今回の支援活動を含め、会員一人ひとりの資質向上、意識の開発を行い、クラブ組織の活性化、強化を図れるよう転換していただきたいと思ひます。

地区協で小沢一彦直前RI理事が、「RIは会長によって変化していきます。地区は、ガバナーの考え方によって大きく変わることができます。ロータリーの基盤であるクラブは、皆さんの勇気ある変革の意識によって、新しい魅力あるクラブになるのです。」とお話下さいました。

ロータリーは、過去の歴史の中で様々な試練を乗り越え大きく進化してきたのです。

ロータリアンの皆さん、このピンチの時にこそ、チャレンジの気持ちにチェンジしましょう!

以下、当委員会の実施した主要行事を報告致します。

1. 全国会員増強セミナー 平成 22 年 3 月 6 日(土)
横浜市キャメロットジャパン
出席者 … 福田 GE、松倉地区会員組織強化委員長
2. 地区会員増強セミナー 平成 22 年 6 月 6 日(日) 前橋ホテル
基調講演 … RI、会員組織地域コーディネーター
2720 地区 PG 杉谷卓紀氏(玉名 RC)



第2840地区 2010-2011年度

広報委員会活動報告書

委員長	井上 芙美子 (前橋中央RC)
委員	大島 秀夫 (前橋北RC)
委員	東郷 庸史 (桐生西RC)
委員	松原 香 (伊勢崎中央RC)
委員	市川 武 (高崎東RC)
委員	屋代 哲 (太田南RC)
委員	川島 健一 (大泉RC)
委員	兵藤 和男 (渋川みどりRC)
委員	高橋 敏男 (富岡かぶらRC)
地区担当副幹事	千木良 芳明 (前橋西RC)

今期につきましては広報委員会といたしまして、いくつかの事業の目的を持ちましたが、特に力を注いでやってきた事業につきましては、以下の通りです。

I. 群馬県に対して群馬ディスティネーションキャンペーン支援事業について

2011年7～9月に実施される群馬県を全国にPRする15年に1回の大イベントであります「群馬ディスティネーションキャンペーン」に対しまして、広報委員会といたしまして「住民参加型プレDC」の支援事業を行ってまいりました。

ロータリークラブの全県下の組織の連携力を駆使することで、「プレDC」の全県的な広報支援の展開に寄与したと思います。

この支援事業を行うについて「心にググッとぐんま、わくわく体験新発見」と題して、ロータリーのマークと国際ロータリー2840地区と表示し、内容につきましては

- ① ロータリーの誕生とその成長について
- ② 分区毎の支援内容
- ③ ロータリーの貢献パンフレットを6000部作成し、全県下にロータリアンが配布いたしました。

この事業につきましては、群馬県知事にもしっかりと受け止めていただき、ロータリークラブの支援として大変効果があったかと思えます。

II. 移動式横断幕について

この移動式横断幕につきましては、RIからの補助金の対象にもなっておりまして、補助金が決定になって から作成したもので、2011年3月より各分区に計8枚掲げました。

内容につきましては、福田ガバナーのテーマでもあります「世の中の役に立とう」というテーマで作成し、横10m、縦1.2mとかなり大きなもので、3月11日東日本大震災前後に掲げましたので、ロータリーのイメージをかなりアップできたかと思えます。

III. 上毛新聞による掲載

2011年2月23日「ロータリー誕生の日」に上毛新聞により、「ロータリー世界と日本」「ロータリークラブとは」「ロータリーの貢献」についての内容の説明と群馬県内47クラブの分区毎の紹介を5段の大きさで掲載いたしました。

以上、大きな事業3点を行ってまいりましたので、群馬県内の県民の皆様にロータリーのイメージを目にとめていただき、今年度は大変大きな効果があったかと思えます。

以上



第2840地区 2010-2011年度

管理運営委員会活動報告

委員長	竹内 靖博	(桐生RC)
委員	佐藤 信一	(前橋東RC)
委員	佐藤 修	(高崎南RC)
委員	布施 光一	(群馬境RC)
委員	石関 厚	(桐生南RC)
委員	岡野 訓也	(前橋西RC)
地区担当副幹事	黒岩 保弘	(前橋西RC)

今年度の管理運営委員会の活動方針は各クラブがガバナー方針を理解し、より効果的なクラブ運営が出来るよう指導助言を与えることです。

CLPの導入がより活発で合理的なクラブ運営に効果があり、会員の減少傾向が続いている現在、効率的な方法として強制ではありませんが国際協議会によって提唱されたものです。当委員会としても地区協議会等で推奨してきましたが、その現況を知るべく2月に各クラブに対して**CLPアンケート調査**を実施しました。その結果は次の通りです。

- 1 CLPの導入は47クラブ中36クラブで76.6%
- 2 導入を検討中が2クラブ、導入予定なしが中規模クラブ4クラブ 小規模クラブ5クラブです。

導入の効果については

- 1 奉仕活動が重点化し会員満足度が向上
- 2 意思統一が容易になり具体的な活動ができる
- 3 小規模であるがクラブ運営が楽になった
- 4 委員会の役割が簡素化されて少人数でも運営が可能になった
- 5 委員会が活性化し会員減少が止まった
- 6 会員減少は進んだが活動は活発になった
- 7 特に顕著な効果はないが組織編成がスムーズに出来る様になった
- 8 各委員会の意見交換や協力関係が密になり運営に好影響
- 9 特に変化なし

委員会構成の変更については

変更したクラブは34クラブで72.3%です。

クラブの定款、細則の変更については

変更したクラブは32クラブで68.1%です。

中長期ビジョンの設定については

設定しているクラブは 12 クラブで 25.5%となっている。

あるクラブは長期計画を立てそれに基づいた年次計画の策定を行い、更にそれに沿った委員会構成に変更するというクラブ運営を実施しているところもあります。

CLP に関して感じたことは？ との問いに対しては

- 1 単年度制と長期計画の遂行の難しさ
- 2 自クラブの特色を出しながら実行に移す
- 3 組織が活性化した
- 4 CLP の理解度が低い
- 5 少人数クラブに必要なシステム
- 6 地区行事が元の委員会名で召集されるので戸惑う
- 7 CLP をさらに理解したい
- 8 委員会の結束が強化された
- 9 中期ビジョンの設定に不確実な点が多い
- 10 特に変化はない
- 11 CLP だけがクラブ活性化の方法ではない

以上のようなアンケートの結果であります。中規模以上のクラブにおいては、5 大奉仕、財団、その他の委員会等に委員の配属が出来ますが小規模クラブにおいては委員会の二重配属やメンバーの負担軽減の為に CLP の導入は必要と思われれます。

特に委員会構成や定款細則の変更については会員数も大幅に減少しているにもかかわらず旧態依然とした委員会構成では支障が出てくることは自明の理であり RI も定款細則について本部のそれに抵触しない限り問題ないと表明しています。過去の前例を踏襲することが最も楽であり抵抗もないと思われれますが現状に沿った内容に変更することに対して必要なものは残し改めるべき事は思い切って改革することも将来を考えれば必要と思われれます。

また、当委員会は各クラブの自由と清新、公共性と社会性、組織拡大とリーダーの育成と長期計画の立案等に協力できるように例会における「卓話、研修出前サービス」を実施しております。卓話者は造詣深い地区指導者を各クラブに派遣して上記活性化のお役に立てるよう努めております。

今年度現在まで延べ 30 クラブ 30 名の講師を派遣いたしました。意義ある楽しい例会の運営は卓話の有様によるところが大きく、それが結果的には会員の増強と退会防止に繋がるものであります。各クラブにおいては卓話者の選定に苦慮しているものと考えられますので、このような企画は今後も継続すべきものと思われれます。管理運営委員会は単独のものと IT 委員会との合同委員会も開催しクラブ活性化のための協議も致しました。


 第2840地区 2010-2011年度
IT委員会活動報告書

委員長	毛塚 宏	(館林RC)
委員	藤口 光洋	(前橋中央RC)
委員	大塩 孝	(太田RC)
委員	竹中 隆	(高崎北RC)
委員	渡邊 常二	(沼田中央RC)
地区担当副幹事	黒岩 保弘	(前橋西RC)

第 2840 地区にIT委員会が設置され 10 年近くたちました。

IT委員会では各クラブにCICOの設置をお願いし、2840 地区ホームページの開設やガバナー月信の Web サイトからのダウンロード、地区ドメインの統一及び各クラブにメールアドレスの配布を行い、更に、事務局及びCICOのメーリングリストの作成、そして、ホームページを持たないクラブに対し作成支援と更新支援等々地区及び地区内各クラブの情報基盤の構築及び支援等、IT化推進を図ってまいりました。

この結果、第 2840 地区内クラブのホームページの保有率の向上、各クラブの活動を会員及びロータリーの関係者等々へ、資料と共に多くのロータリ情報を広報・周知する事が可能となりました。

また、各クラブへID及びPWの配付等をおこない、Webサイト内でクラブの情報管理責任を確立するように図りました。

福田年度IT委員会では、年度の初めに 47 地区内、各クラブHPの状況を調査いたしました。

地区更新支援クラブは昨年より各クラブで自力更新をお願いして参りましたが、更新がままならない数クラブについては協議の上、地区で更新支援を行ないました。

そして、今年度は地区ホームページの情報の提供・発信を行なうため、地区内クラブ情報の紹介、IT調査等のコンテンツの充実を図りました。

初めての試みとして、福田ガバナーに了解をいただきカウンターの設置を致しました。

2011 年 5 月末日現在で、地区内ロータリアンの総数の10倍を越える閲覧数をカウントしております。

また、地区内クラブ情報はピックス形式で月毎に掲載し好評を博しました。

一年間、委員会運営が出来ましたのも、各委員の皆様、黒岩副幹事のご支援、ご協力の賜物です。

IT委員会の皆様に感謝!感謝! 有難う御座いました。

【IT委員会の目的】

RIと地区、地区内各ロータリクラブとの効率的な情報伝達と情報の共有化のために、各クラブのITスキルのさらなる促進を行ない、IT環境整備の支援を行う。

各クラブに、引き続きクラブ情報通信担当委員(CICO)の任命設置をお願いし、クラブのITスキル促進の為の有効な支援策を協議する。

【本年度基本方針】

1. 福田ガバナーの地区行動指針にある5つのS、の実践として各クラブのITスキルの支援と浸透
2. RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」の趣旨の元に、地区内ロータリー情報の地区ホームページへの提供と地区ホームページからの情報の双方向発信。

【実施内容】

1. 2010-2011 福田ガバナーのホームページ開設・更新
2. 昨年度IT委員会でホームページ更新支援を行ったクラブに対し、更新作業の支援
3. 第2840地区ロータリアンのIT(情報技術)意識調査アンケートを地区ホームページ上で実施
4. 第2840地区ロータリアンの地区ホームページ閲覧運動の展開
5. 各クラブの事務局及新たなCICOのメーリングリストの作成
6. 各クラブ情報の地区ホームページへの掲載



第2840地区 2010-2011年度

職業奉仕委員会活動報告

委員長	金井 榮則	(桐生赤城RC)
委員	武井 智明	(太田中央RC)
委員	石崎 勝宥	(藤岡RC)
委員	白石 仁	(前橋西RC)
地区担当副幹事	清水 憲明	(前橋西RC)

2010～2011年福田ガバナー年度の地区職業奉仕委員会の報告をさせていただきます。

地区研修セミナーに於いて、福田年度地区運営方針が語られ、その中に意義ある活動には過去に拘束されない、そして全ての活動に「自由と清新」を持って、ロータリーの基本と理念を曲げない柔軟な考えと行動をと、ありましたので、地区職業奉仕委員会はロータリーの危機的状況を把握し、今我々に何が必要なのかを考え、年間の方針を考えました。

PETS研修セミナーに於いて職業倫理を職業人である我々ロータリアンがどう考え、そして職業の基本を身につけるには、今の我々に何が必要なのかを述べたつもりでした。

特にロータリーの綱領(ロータリーの目的)や、四つのテスト等は全員に熟知させる事の大切さを分科会において述べて頂きました。

私達はロータリー哲学を和訳によって理解しております。ロータリーは親睦から始まったクラブであり、そこにシュルドン氏がサービスの概念を持ち込み、ロータリー哲学の基礎を作られた。そこで我々はもう一度、ポールP・ハリスの真の目的を知る事やシュルドン氏のサービスの心を知ること、コリンズ氏の無私の奉仕、ハーバートテラー氏の四つのテスト等を身に付けることを、本年度の活動目標にして頂きたいと申し上げました。

特に私は四つのテストに拘りました。クラブに訪問しても四つのテストの唱和が無いクラブもありました。唱和されていても文言を見ながら唱えている方が非常に多いことを知りました。四つのテストが身に付いた会員が増えなければ、当地区からも会員の退会者が増えるでしょう。そこで職業奉仕委員会と致しまして、四つのテストの文言を理解し、諳んじられるようお願い致しました。

半年様子を見ましたが、あまり変化がありませんでした。そこで職業奉仕委員会は四つのテストの文言を身近なものにする為に、そして事務所や机の上に置くのではなく常に携帯用に作り、何時何処でも唱えられるように、そして企業の従業員も職業倫理を身に付く用に指導してあげるには、まず自分から諳んじられるように一日何度でも唱える事が出来るしおりを作り、本年度の各クラブの職業奉仕委員長にお願いし会員全員にお配りして活用し頂きました。

以上を持ちまして福田年度の地区職業奉仕委員会の報告と致します。



第2840地区 2010-2011年度

社会奉仕委員会活動報告

委員長	疋田 博之	(桐生RC)
委員	関 文彦	(前橋東RC)
委員	矢野 英明	(富岡中央RC)
委員	北澤 俊春	(前橋西RC)
地区担当副幹事	清水 憲明	(前橋西RC)

社会奉仕委員会は、ロータリークラブの活動の根源と考えられる。それぞれロータリアンが、またロータリークラブが独自に社会奉仕活動をしていることになる。現実には新聞報道などでその素晴らしい活動が知られるところである。そこで本委員会は、第 2840 地区として 47RC で、どのような活動をしているのか大事と考え、各クラブにお願いして奉仕活動状況を報告してもらい、それをまとめて簡単な小冊子として事務局にまとめて頂きました。各クラブに配布してありますので何らかの参考に、今後のロータリー奉仕活動に役立てて頂きたいと思います。各ロータリークラブの担当者のご協力に感謝します。

従来ロータリー活動は単年度で行うというのが基本でしたが、現在は奉仕活動を継続的に行っているケースが多く見られます。全体的にロータリー活動に変化が見られてきていることから社会奉仕活動も広く、長くということになってきました。

この 3 月に広範囲に被害をもたらしている東日本大震災、それに伴う福島原発事故で日本の状況は一変しました。

第 2840 地区としてまた社会奉仕活動として何か出来る事はないか模索しましたが、あまりに大きな事故でなかなか考えが浮かびませんでした。そうした中でガバナー会からの義援金の話しがでて福田ガバナーの意向で第 2840 地区としてまとめて本部に届けたということになりました。これからの方針はまだ確定してないようですが何らかの支援は行われていくことと思います。既に個々の RC で社会奉仕活動が行われたようですがこれからはますます増えてくる事を期待しています。これからも第 2840 地区全体で動くことはなかなか難しいかもしれません。今回もあるロータリアンの助言で輸血センターなどへの協力を考えてはと言われましたが、日赤輸血センターに相談してみましたが、今は十分足りているということでした。その時その時で必要なものが変わってきているので情勢をみながら必要なことをしていけるようにしなければならないとあらためて考えさせられました。

力不足で十分な対応が出来ずに残念に思っています。まだまだ先の長いことで、これからも具体的なことが出てきましたら第 2840 地区として各クラブにご協力が必要になると思いますのでよろしくお願いします。

各クラブこれからも広い社会奉仕活動、ご活躍をよろしくお願いします。



第2840地区 2010-2011年度

青少年交換委員会活動報告

委員長	峯岸 則幸	(伊勢崎RC)
委員	山田 昇一	(前橋北RC)
委員	豊泉 君代	(高崎シンフォニーRC)
委員	岸 権三郎	(渋川RC)
委員	佐藤 秀樹	(渋川みどりRC)
委員	荒川 優	(前橋西RC)
地区担当副幹事	平田 育夫	(前橋西RC)

今年度目標として、短期交換 2 名、長期交換 4 名と云う事でスタートいたしました。

7 月 18 日歓送迎会から始まりました。

長期交換受入学生帰国 : イアンスコット・イアンロジャー・ローレングルトン

短期交換受入学生帰国 : クラウディアレベッカ・クリストファートムソン・リー グレゴリー

長期交換派遣学生 : 上代 純子・正田 亜海・齋藤 美葵・関 菜央美

福田ガバナー・牛久保直前ガバナーによる、修了証及び、プレゼントの授与がなされました。学生達の感激していた様子が思い浮かびます。派遣学生には、ロータリーエンブレム・地区バッジ・名刺がプレゼントされました。

9 月 5 日には、五大奉仕セミナーが開催され、新世代奉仕部門が第五の奉仕部門として四大奉仕に加わりロータリーの大変革が伝えられました。青少年交換委員会といたしましても新世代部門と云う事で各プログラムとの連携を図る事になりました。

9 月 26 日には、派遣学生の帰国に伴う歓送迎会及び、帰朝報告会が盛大に開催されました。待ちに待ったファミリーの皆様方の前で誇らしげに英語のスピーチ又、自信に満ちたスピーチを披露してくれました。

10 月 10 日には、地区大会への参加、長期交換学生の帰国組 4 名、受入組 4 名の発表、大変素晴らしい発表でした。

11 月 3 日には、秋の小旅行として天空回廊散策と上野村神流川発電所見学を16名の参加で実施いたしました。

12 月 12 日には、福田ガバナーのご提案で米山記念奨学と青少年交換学生ローターアクトの合同クリスマス会が催され、大変好評でした。

12 月 5 日、1 月 9 日両日に派遣学生の選考会が開催され、長期交換学生 4 名、短期交換学生 2 名が内定されました。

2月20日には、受入れ学生のためのスキー教室を行いました。伊勢崎スキークラブの皆様にお世話になって同行させていただきました。スキークラブなのに学生達とROTEXの皆はスノーボードと云う事で大変ご迷惑をお掛けいたしました。おまけに帰りの集合時間を2時間も遅れてしまい大変な事になりましたが、伊勢崎スキークラブの皆様は心の広い人達ばかりでした。感謝です。

一段落して、さあオリエンテーションと云う所で3月11日東日本大震災の影響でアメリカから受入学生の早期帰国の依頼が3月12・13日に出て、2840地区としても緊急会議を招集して受入学生4名全てを3月17日と19日に帰国させました。非常に残念な思いでした。もちろん学生も残念だと云っていました。出来たら又、日本に帰りたくと云っていました。

4月10日、全国青少年交換委員長緊急会議が招集され、これからの青少年交換について協議され4項目について採択されました。

- ① 2011～12年度 青少年交換プログラムは日本に於いて行う。
- ② Two-Wayでは無理な地区もあるので日本からの交換学生をOne-Wayでも受け入れてもらえたらありがたいので、世界の交換相手地区へ願います。
- ③ 日本に安全な地区もあるので、来日学生を日本34地区の協力で安全な地区でホストするようにする。
- ④ もしまた新たに危険な状況が発生したときは、速やかに来日学生をより安全な地区へ移動させる。そして本国のご両親の早期帰国の要望があつてときは速やかに帰国させるようにする。

当地区に於いては変則 Two-Way と云う事になりました。つまり、派遣は出来るが受入れについては他地区に願う事になりました。北海道 2510 地区に 2 人、愛知 2760 地区に 1 人、長崎 2740 地区に 1 人、計 4 名の受入れをお願いいたしました。派遣については従来通りアメリカ地区に受入れをしていただきましたので変則であっても交換が成立いたしました。ロータリーの友情に感謝です。

4月、5月、6月と遅れを取り戻すために1ヶ月に約2回のオリエンテーションを行い、学生及び、ファミリーに対して教育を行っております。今年度の一年は大変忙しい一年でしたが、やりがいのある年でもあり、委員会としても充実感がありました。又、委員会の皆様にも感謝いたします。



第2840地区 2010-2011年度

世界社会奉仕・友情交換委員会活動報告

委員長	前原 信之	(太田中央RC)
委員	村田 茂行	(藤岡RC)
委員	井上 等	(伊勢崎南RC)
委員	佐藤 正宏	(富岡中央RC)
委員	豊川 一男	(藤岡南RC)
地区担当副幹事	平田 育夫	(前橋西RC)

【委員会の目的】

WCS プログラムの再考査と理解の普及、並びに効果的な WCS プロジェクトの模索と参画を前提とした関係資料の収集と情報提供。

【委員会の報告】

世界社会奉仕(WCS)プログラムは、その開始以来、ロータリアンが国際奉仕プロジェクトの協力者探しを行う上で役立てられてきました。しかし、そのプログラムの名称からロータリー財団の人的補助金プログラムと混同するケースが目立っていました。

RI 理事会は 2010 年 6 月の会合で、改定された RI 長期計画の優先項目、並びに『プログラムを基本としたモデルからリソースとサポートのモデルへ』の RI プログラム運営の全般的転換の必要性を反映し、2011 年 6 月 30 日をもって、WCS とロータリーボランティアプログラムについて漸次廃止する事に合意しました。

これらのプログラムの廃止について、RI 理事会は、ボランティア活動の重要性を認識する反面、比較的少人数のロータリアンの為に多大なリソースを投入することの価値を疑問視していたことがその理由として挙げられます。加えて、ロータリークラブと地区に、ボランティア活動に関する指針とリソースを提供し、地元と海外での奉仕プロジェクトにおけるボランティア活動の機会を模索するよう奨励することへと、重点が移行した事もその一因です。

今後は、現ロータリー友情交換プログラムを拡張することによって、国際奉仕プロジェクト、親睦訪問、国際ボランティアの機会など、ロータリー奉仕のつながりを支援するためのリソースが行われ、RI はロータリアンの国際奉仕を全面的に支援する旨通知されています。

第2840地区 2010-2011年度
 **インターアクト委員会活動報告**

委員長	田部井 敏弘	(太田RC)
委員	新井 茂雄	(伊勢崎南RC)
委員	船山 克人	(桐生南RC)
地区担当副幹事	片桐 保	(前橋西RC)

○インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議

日 時 : 2010年7月10日(土)
 会 場 : 太田市立商業高等学校
 出席者 : インターアクト 31名(15校)顧問教師 18名(15校)
 ロータリアン 23名(15クラブ)地区役員 6名
 内 容 : 各校インターアクトクラブ現況報告、グループ討論会



○インターアクト年次大会

日 時 : 2010年7月24日(土)
 会 場 : 太田市立商業高等学校
 主 催 : 太田市立商業高等学校インターアクトクラブ
 提 唱 : 太田ロータリークラブ
 参加者 : インターアクト 127名、来賓及び講師名 11名、
 ロータリアン 60名、顧問教師 20名、
 ローターアクト地区代表 1名、太田商業高校校長及び
 来賓 27名太田商業高校関係者 134名 合計 380名



テーマ『Change!』～楽しもう人生を!～

内 容 : 開会式、ガバナー式辞、来賓祝辞、吹奏楽部による演奏会
 講演「オール1の落ちこぼれ、教師になる」宮本 延春 氏
 4分科会 ①「パティシエの技を習おう!お菓子作り教室」
 ②「粋に雅に着こなそう!浴衣着付け教室」
 ③「みんなで踊ってナイスなBODY!Hip Hop 教室」
 ④「ポップにアレンジ!自分だけのオリジナル名刺作り教室」



○インターアクト海外研修

日 時 : 2011年3月24日～2011年3月27日
 交流先 : 台北県清傳高級商業職業学校
 参加者 : (新潟 14名)生徒 10名・ロータリアン 3名・顧問教師 1名
 (群馬 21名)生徒 18名・ロータリアン 2名・顧問教師 1名
 内 容 : 交流先の高校生との交流、ホームステイ



※ 受入事業は協議の結果、今年度は中止となりました。



第2840地区 2010-2011年度

ローターアクト委員会活動報告

委員長	臂 友幸	(伊勢崎RC)
委員	坪井 良行	(桐生西RC)
委員	高橋 優一郎	(富岡RC)
地区担当副幹事	片桐 保	(前橋西RC)

福田ガバナー年度、2010-2011年度ローターアクトは、従来四大奉仕部門の社会奉仕に属していましたが、新たに五大奉仕部門として認められた新世代奉仕の一つとして、インターアクト、ライラ研修、青少年交換、等と共に、次世代への若者と、共に歩み出す記念の年でした。特に、前宮崎委員長の時に復活したローターアクト地区活動が活発になり、各クラブが活性化されている。

今年度の地区ターゲットを「リ・スタート」とかかげた久保田代表のもと、年間行事計画を私達地区委員会と共に実行できた。その中で特筆すべき事例をいくつか上げると、

- ① 9月に札幌にて行われたアジア第1ゾーン代表者会議では、宮城・福島など東日本のローターアクトと交流を深めると事ができた。
- ② ローター地区大会において、多くの会員の前で発表できたことはローターアクトの会員の自信につながっていった。
- ③ ライラ研修会においては、館林のロータークラブの方々と共に、ロマンや、夢を持った大人のロータリアンと交流を深め、信頼感が増した。
- ④ クリスマス会を交換留学生、米山記念奨学生と共に楽しく、交流の場を持って、今後の新世代奉仕の仲間作りが始まった。
- ⑤ 今年の2月には埼玉で全国ローターアクト研修会が行われ、各地区のローターアクト委員会のロータリアンと交流を深め、問題点を共有し合うことができた。
- ⑥ 3.11. 東日本大震災を契機に福田ガバナーの御理解を得て、ローターアクト年次大会を中止し、内容を変更し、チャリティイベントとして「ボランティア活動」を中心に実施し、多くのロータリアンにも参加いただき、共同奉仕の必要性を実感した。
- ⑦ 最後に、ロータークラブとの合同事業として、新世代奉仕グループの、ローターアクト、インターアクト、米山記念奨学生と、ロータリアン合計 59名の参加で足尾の植樹ボランティアを盛大に行えた。

記憶に残る大災害の年に、ローターアクトとして、これからの「奉仕のアクト」の姿が明確になってきたと感じられ、6月12日、地区協議会を開催し、次年度の佐藤代表を選出し、安藤年度に向かう準備が整った。

以上報告いたします。


 第2840地区 2010-2011年度
ライラ委員会活動報告

委員長	中山 勉	(館林ミレニアムRC)
委員	春山 和夫	(太田RC)
委員	峰岸 希一	(前橋南RC)
委員	町田 仲廣	(前橋東RC)
地区担当副幹事	片桐 保	(前橋西RC)

RI2840 地区となって 10 回目のライラ研修を、群馬県最東端である館林市で 2010 年 10 月 16 日(土) 17 日(日)に開催いたしました。

館林市は「世界一のつつじと分福茶釜のまち」というキャッチフレーズで、春は観光の街として多くの方にお出でをいただき楽しんでいただいている地で、開催することが出来ました。10 月はつつじの時期ではありませんでしたが、今回はその観光の中心となる「つつじヶ岡パークイン」を宿泊所として研修を行い、研修生、ロータリアンを含め 150 名以上の参加をいただき盛大に行なうことが出来ました。

若い人達には大きな夢を持たない現在の社会で、あきらめず大きな夢を持ちこれからの人生を歩んでもらいたいと願いライラ研修を企画し行いました。

RI2830 地区、PDG 関場慶博氏に「あなたの舞台は・・・世界そして地球」と言うテーマで基調講演をしていただきました。また、館林ミレニアムロータリークラブのすばらしき飛行機野郎、大西勇一氏に「大空を翔る夢」と題し飛行機に関する卓話を頂きました。ワークショップでは「館林紙飛行機クラブ」の指導で飛行機づくりを全員で行いました。

宿泊所の「つつじヶ岡パークイン」ではバーベキューでの食事をとりながら、ロータリアンと研修生と一緒に会話に花を咲かせ一夜を楽しむことが出来ました。

研修生に有能なロータリアンを示し、青少年にロータリーに対して更なる関心を抱いてもらい、それと同時にロータリーをそれなりに理解してもらえた研修になったと思っております。青少年のその未来のために二日間行動を共にし、大きな夢を持ちそれを可能な限り現実化するための研修が出来たのではないかとと思っております。



第2840地区 2010-2011年度

ロータリー財団委員会活動報告

ロータリー財団委員長	高木 貞一郎	(館林RC)
	補助金・奨学金・年次寄付恒久基金	
委員長	森田 均	(渋川RC)
委員	中繁 基	(館林西RC)
委員	川口 修平	(高崎南RC)
委員	森田 高史	(伊勢崎RC)
委員	関 真一	(沼田RC)
委員	宮内 敦夫	(館林RC)
委員	矢島 克彦	(太田南RC)
委員	室賀 康志	(高崎北RC)
	GSE・学友会・PP	
委員長	立見 壽士	(高崎北RC)
委員	狩野 明	(前橋RC)
委員	都筑 秀雄	(中之条RC)
委員	菊地 雅子	(桐生中央RC)
委員	槻岡 道夫	(大泉RC)
地区担当副幹事	数納 篤紀	(前橋西RC)

<福田DGの今年度R財団目標>

「ロータリー財団の目標を達成しよう」

財団の地区活動資金(DDF)を積極的に活用し、地域や国際社会に貢献すると共にクラブの活性化に役立てよう。

また、年次寄付、恒久基金、ポリオ撲滅の為の目標を達成しよう。

以上の福田DGの基本方針に則り、以下の事業計画を策定実施。

I. 寄付への協力依頼

i ロータリー財団への寄付目標 1人・100ドル以上を

ii ポリオのチャレンジ拠金 1RC・2,000ドル

今年度はDDF(地区財団活動資金)を使用。DDF・47,000ドル

クラブロータリアン@24ドルを寄付目標として慫慂。(47,000ドル)

◇ 2,008年「ロータリーの1億ドルチャレンジ拠金」に続いて

「ビル・ゲイツ氏のポリオ撲滅拠金に呼応して「ロータリーの2億ドルチャレンジ拠金」を

2009年7月1日より2012年6月30日まで行なう予定。

□ 2010~2011 の当地区寄付実績	□ 2009~2010 の当地区寄付実績
2010. 7. ~ 2011. 6(中間)	2009. 7. ~ 2010. 6
・年次寄付 193,769.68 ドル	235,202.53 ドル
・使途指定寄付 27,213.81 ドル	17,077.46 ドル
・恒久基金 5,522.00ドル	4,140.00 ドル
合計 226,505.49 ドル	256,419.99 ドル
1人当たりの寄付額 99.27 ドル	120.55 ドル

□ 上記の外、「一億ドルチャレンジ」DDFより 94,000 ドルを寄付支出。

II. 教育的プログラムの実施

1) 国際親善奨学生の選考(2011~2012 プログラム年度) 今年度は、マルチ(2年)は、採用しない。

国際親善奨学金(A.Y) 1名×2名採用予定内 1名辞退 /// 留学希望校意に副わぬ為辞退

DDF: \$26,000.×1名=26,000 ドル

◎A.Y 奨学生 塩原 慧 群馬県立女子大学 (前橋東 RC 推薦)

× 辞退・入澤 聡子 国際基督教大学 (前橋東 RC 推薦)

◆ なお、2009~2010 プログラム年度国際親善奨学生 2名就学中(6月には帰国)

◇ 渋川ナタリ 渋川RC推薦 東京芸術大学音楽学部器学科卒業

◇ 星 晴佳 高崎北RC推薦 群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部在学中

2) ローター世界フェロシップ 応募者、推薦者なし。

3) 研究グループ交換(GSE) 今年度実施予定なし。

III. 人道的補助金(DSG)の実施

(1) 地区補助金

◆ DS1070108

本年度DDFを 20,000.ドル 2010年10月31日 Paid。

現況: 2011.5.25 現在 Status 「Paid」報告書未提出

◆ DS1275225 2011 ~ 2012 年度分

本年度DDFを 24,000 ドル.

現況 : 2011.4.15. 現在 Status Approved. 認可

□ 当年度4RC・4プロジェクトにDDFより補助金 1,221,920 円交付。

- ◆ 桐生西 RC「相生地区高齢者の生きがい支援事業」120,000 円
- ◆ 伊勢崎 RC「比国ロドリゲス中学校トイレ改修プロジェクト」、240,000 円
- ◆ 高崎セントラル RC「高崎市の水源涵養林保護運動(緑のダム) 応援隊補完事業」、252,000 円
- ◆ 大泉 RC・4 分区 B4RC「比国・貧困地区ディケアセンターへの支援事業」、234,920 円
- ◆ 沼田 RC「カンボジア農村部夜間医療向上支援事業」、100,000 円
- ◆ 藤岡南 RC「カンボジア・シェリムアップ地区井戸保全プロジェクト」、275,000 円

申請は 10RC から 6 プロジェクト。

補助金決定プロジェクト 6 プロジェクト・合計 1,221,920 円 ①

DS1172621 で DDF の交付額 1,719,999 円 (20,000 ドル) ②

DDF 返還額 : ①-② ▲ 498,079 円

<DDFでの地区補助金交付状況>

- ❖ DS ・DS1172621 \$20,000. 00
現況 Paid 2010.10.31
- ❖ DS ・DS1275225 \$24,000. 00
現況 Approved 2011.4.15. 2011 ~ 2012 年度用

(2) マッチンググラント

* MG1072014

Host パートナー比国 RID3860 (\$5,000) セブポートセンター RC (\$100)

Int'l パートナー「RID2840—\$25,550」「館林 RC—\$4,000」 総体額 \$34,630.

内 D2840DDFより支出分 25,550 ドルは当年度で支出済

現在 : 2010 年 3 月 31 日財団支払い済 「Paid」の Status

□ 前年までの申請プロジェクトで 4 プロジェクトが「CLOSE」になっておらず (2011 年 5 月 25日の Activity

Report による)R財団の処理は未済である

従来実施したプロジェクトのうち未だ「Activity Report」で Close として完結していないものは、

◆ MG0968297 「児童への移動結核診断」 DDF：10,000ドル

現況： Reported2011.5.3.

(HP) 比国マカブRC ・D3830 (IP) 高崎南RC ・D2840

◆ MG0969694 「CLE 公益水対策」 DDF：13,000ドル

現況： Reported2011.5.20.

(HP) 比国マカティRC ・D3830 (IP) 富岡RC(0ドル) ・D2840 韓国 D3620

◆ MG0968322 「タムスイの高校の水再生装置助力」 DDF：2,500ドル

現況： Reported2011.2.11

(HP) 台湾 RID3520、フワヤン RC、チュンチェン RC

Int' l' -トナ-「RID2840—2,500ドル」「高崎セントラル RC—3,000ドル」

RID2520、横手南 RC と共同 Int' 総体額 31,056ドル

◆ MG1072014 「安全な水供給井戸」 DDF：25,550ドル

現況 Paid 2010.3.31.

(HP) 比国セブポートセンターRC ・D3860 (IP) 館林 RC(4,000ドル) ・D2840

◎ 緑色は「報告書提出済・最終審査中」、青色は「支払済のみで報告書も未提出」

IV. ポリオプラス

ポリオのチャレンジ拠金 1RC・2,000ドル

今年度はDDF(地区財団活動資金)を使用。DDF・47,000ドル

クラブロータリアン@24ドルを寄付目標として従ふ。(47,000ドル)

◇ 2,008年「ロータリーの1億ドルチャレンジ拠金」に続いて

「ビル・ゲイツ氏のポリオ撲滅拠金に呼応して「ロータリーの2億ドルチャレンジ拠金」を

2009年7月1日より2012年6月30日まで行なう予定。

<2010 ~ 2011 年度DDFの残高・・・概算 2010. 11.12. 現在>

シェアシステムDDF残高(概算・確定 2011.8.)及び使用計画

◆前 09 年次シェアシステムDDF残高(概算・確定 '10. 8.)

2009 年プログラム年度繰越金額 \$52,667.97.
 '07~'08 年次寄付 50% \$121,862.15 (\$243,724.3×50%)
 (R財団よりの 09,11 の資料) \$.123,401.42*
 '07~'08 恒久基金収益 50% \$ 未定

◆ '10~' 11 年度 DDF 使用可能 \$176,069.39
 プロジェクト使用予定額 ▲\$175,000
 差し引き概算次期繰り越し額 \$1069.39

'09~10 年度地区が使用できるDDF (R財団よりの 09,11 の資料) \$222,167.97
 '09~10 年度使用額 (PP\$94,000. 奨学金 \$50,000. MG\$.25,500.)
 \$.169,500.00 前年 2009 プログラム年度繰越 上記差引 \$52,667.97

◆ プロジェクト使用予定額 \$175,000
 * 教育的プログラム \$78,000.
 国際親善奨学金 \$26,000×3
 * 人道的プログラム \$50,000.
 マッチンググラント \$30,000
 地区補助金 \$20,000.
 * ポリオプラス 2 億ドルチャレンジ \$47,000
 47RC×\$1,000. =\$47,000.
 +メンバー@\$24.00 (≒\$.47,280.)
 * 地区合計 \$94,000.

\$1,069.39 が使用予定残となるが、'07~'08 恒久基金収益 50% は見積もっていないので、あくまで概算の数字。



第2840地区 2010-2011年度

補助金・奨学金・年次寄付恒久基金委員会活動報告

委員長	森田 均	(渋川RC)
委員	関 真一	(沼田RC)
委員	宮内 敦夫	(館林RC)
委員	矢島 克彦	(太田南RC)
委員	川口 修平	(高崎南RC)
委員	森田 高史	(伊勢崎RC)
委員	中繁 基	(館林西RC)
委員	室賀 康志	(高崎北RC)
地区担当副幹事	数納 篤紀	(前橋西RC)

当委員会は、ロータリー財団の主たる任務のうち、1. (人道的) 補助金、2. (国際親善) 奨学金、3. 年次寄付・恒久基金を担当し、この一年間活動してきた。以下、順次、各分野についてその概要を述べる。

1. (人道的) 補助金について

(1) 地区補助金 (DSG)

本年度の地区補助金申請は、6 クラブからあり、審査の結果全クラブへ支給した。地区補助金は、出来るだけ多くのクラブに活用して頂きたい。その反面、「人道性」などの条件が益々厳しくなっているのも現実である。

青少年健全育成事業、継続事業や後援的寄付など、明らかに地区補助金支給対象としては不適切な事業もあるので、申請の際は留意されたい。

(2) マッチング・グラント (MG)

本年度のマッチング・グラントの5月31日までの申請状況は、地区事業が6件であった。

マッチング・グラントは、外国のクラブと事業を協力しあうため、言葉や習慣などに違いがあって難しい面もあるが、今後も多くのクラブに利用して頂きたい。

2. 国際親善奨学金について

国際親善奨学生については、1 学年 3 名を地区の採用予定枠として募集した。応募は2名と少なく、慎重な選考を経た結果、両名とも採用となった。ところがうち1名は、留学先が決定せず、辞退している。有用なシステムなので、更なる応募が望まれるところであるが、広報の方法等に課題を残したのは残念である。

3. 年次寄付・恒久基金などについて

ロータリー財団への年当初の寄付目標は、下記の通りであった。

一人当たりの寄付額 US\$ 100

多くのロータリアンのご理解とご協力により、5月31日現在でこれを概ね達成することが出来た。但し、各クラブにおける目標の達成率に大きな差があるのは、今後の課題としたい。



第2840地区 2010-2011年度

研究グループ交換・学友会・ポリオプラス委員会活動報告

委員長	立見 壽士	(高崎北RC)
委員	都筑 秀雄	(中之条RC)
委員	菊地 雅子	(桐生中央RC)
委員	狩野 明	(前橋RC)
委員	槻岡 道夫	(大泉RC)
地区担当副幹事	数納 篤紀	(前橋西RC)

ポリオプラス委員会

国際ロータリークラブの大きな目標の一つである、ポリオ撲滅のために、ゲイツ財団からの補助金合計 3 億 5,500 万ドルを受けたことにより「ロータリーの 2 億ドルチャレンジ」と銘打って 2012 年 6 月 30 日までに資金を調達する計画に対し、県内各クラブに協力を要請したところである。

この資金として、1クラブ 2,000ドルの目標 (47RC×\$2,000=\$94,000) に対し、その 50% (\$47,000) を当地区 DDF (地区財団活動資金) から支出し、残る 47,000ドルを各クラブ会員一人当たりの負担が均等になるよう、クラブ会員一人当たり 24ドル以上の寄付を募ることとした。

GSE(研究グループ交換)委員会

研究グループ交換・派遣受け入れについては、方針の変更が見込まれるため、GSE 派遣・受け入れの実施予定はない。

財団学友会委員会

対象者となる今までに財団補助金を受けた者の 1970 年～ 010 年までの名簿が出来あがったとのことで、今後の活動方法については次年度安藤年度に於いて検討される予定である。



第2840地区 2010-2011年度

米山記念奨学委員会活動報告

委員長	野辺 昌弘	(館 林RC)
委員	広田 誠四郎	(高崎東RC)
委員	松島 宏明	(桐 生RC)
委員	板倉 正和	(渋 川RC)
委員	川本 裕明	(高崎北RC)
委員	瀬山 欣春	(館 林RC)
委員	木村 清高	(前橋東RC)
委員	宮下 博躬	(渋川みどりRC)
地区担当副幹事	野村 品司	(前橋西RC)
地区担当副幹事	片桐 保	(前橋西RC)

当委員会の年間行事開催予定は、(財)ロータリー米山記念奨学会の年間スケジュールに添って計画いたしました。

委員会活動では、各委員が各行事のうち1行事を担当し、9月23日に開催いたしました米山記念奨学セミナーでは、福田ガバナーの意向で例年とは少し指向を変え、静岡県にある米山梅吉記念館で奨学会の坂下博康事務局長に講演をいただきました。

1月16日に開催した新規米山記念奨学生選考会では、福田ガバナー年度での受入枠は20名ですが、継続奨学生が5名おりますので15名選考し、それにとまなまして15クラブに世話クラブとしてお引受け頂きましたことに感謝申し上げます。

年間行事のスタートとなりました指定校説明会から、最終行事の米山記念奨学生学友会総会まで無事に来られましたのも、福田一良ガバナー、高木貞一郎米山記念奨学会常務理事、地区内ロータリアンの御協力、野村品司米山担当副幹事、片桐保米山担当副幹事、荻原麗子事務局員の御尽力に寄るものと感謝申し上げます、下記のご報告いたします。

尚、委員会の皆様、一年間御苦労さまでした。

2010年

開催日	
8月18日(水)	米山記念奨学指定校担当教授、職員打合せ懇談会 指定校(8大学) 関東学園大学、共愛学園前橋国際大学、群馬大学、群馬県立女子大学 上武大学、市立高崎経済大学、高崎商科大学、前橋工科大学
9月23日(木)	米山記念奨学セミナー 場 所：(財)米山梅吉記念館 静岡県駿東郡長泉町上士狩346-1 参加者：ロータリー会員 81名 元米山記念奨学生 5名 現米山記念奨学生 13名 合計99名
12月12日(木)	米山記念奨学学友会クリスマス会(新世代奉仕部門との合同)

2011年

開催日	
1月16日(日)	米山記念奨学生選考会 応募者数26名、合格者15名を選考 世話クラブ15RCに依頼 前橋RC、前橋西RC、前橋東RC、桐生南RC、桐生西RC、桐生赤城RC、伊勢崎RC、 高崎北RC、高崎東RC、太田中央RC、館林ミレニアムRC、渋川RC、沼田中央RC、 富岡RC、館林RC
2月19日(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会
4月16日(土)	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー
4月16日(土)	新規米山記念奨学生オリエンテーション
6月4日(土)	米山記念奨学生学友会総会 総会に於いて、2001年から2011年度まで学友会会長として 御活躍された、元米山記念奨学生桑名潔江会長が、2011年7月からの新年度で 相談役として、会長として元米山記念奨学生王字 (オーウ、男性、中国出身、世話クラブ富岡RC)が選出されました。 出席者：ロータリー会員 13名 元米山記念奨学生 13名 現米山記念奨学生 17名 事務局 1名 合計44名



第2840地区 2010-2011年度

危機管理委員会活動報告

委員長	森田 均	(渋川RC)
委員	山崎 學	(高崎南RC)
委員	蛭田 義徳	(太田中央RC)
委員	川越 壬英子	(群馬境RC)
委員	五味 典雄	(前橋RC)
委員	石田 弘義	(前橋西RC)
委員	竹澤 泰子	(前橋国際交流理事)

危機管理委員会は、その一般的な提言や研修はさておき、委員会として多くの活動は休止していることが望ましい委員会である。

これまで当委員会は、発足以来、セクシャルハラスメント事案に関して会議を一度持ったほか、幸いその余の活動の必要性を認めたことはなかった。

しかし 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に関連し、同月15日には、急遽、当委員会を開催し、交換留学生の早期帰国の問題を検討した。

その結果、これを推進することを議決し、速やかに対応したことがある。

当委員会としては、所謂 72 時間ルールをふまえ、今後とも有事の折には、早急かつ適切な対応がとれるよう心掛けたい。



第2840地区 2011-2012年度

会長エレクト・次年度幹事研修セミナー報告

国際ロータリー第2840地区
地区幹事 島津 文弘

開催日：平成 23 年 3 月 12 日(土)

会 場：福一（伊香保）

3月11日の大震災の翌朝、予定通り伊香保 福一にて会長エレクト・次年度幹事セミナー(PETS・SETS)を開催致しました。前日は大震災による停電と通信の大混乱から緊急の連絡が取れず、当日も余震が頻繁に起こる不安な状況の中、全体では約7割の方に集まっていただきました。当日、安藤ガバナーエレクトの決断により、急遽宿泊研修の取りやめと、プログラムの縮小により昼までの研修となりました。

内容と致しましては、安藤ガバナーエレクトの国際協議会報告とカルヤン・バネルジー RI 会長エレクトの方針説明、次年度地区目標、運営方針に始まり、曾我隆一パストガバナーよりRI 長期計画についてご説明をいただきました。また、組織、年間スケジュール、予算の概略を説明し昼食後解散とさせていただきます。

会長エレクト・次年度幹事の皆様の中には、会社が被災され建物や商品に被害が出る中、出席いただいた方も多くいらっしゃいました。皆様のご協力と熱意に心から感謝致します。



第2840地区 2011-2012年度 地区協議会報告

開催日：平成 23 年 5 月 14 日(土)

会 場：高崎経済大学

今回の地区協議会は大震災の影響を考慮し、出席義務者を会長エレクト・次年度幹事・奉仕プロジェクト(社会奉仕)委員長に絞り、内容も研修の他、震災復興支援に焦点を当てての縮小開催となりました。会場は高崎経済大学のキャンパスにて、学生のお手伝いをいただき、あたたかい雰囲気の中行う事ができました。

内容として、福田一良ガバナーの挨拶をはじめ、横山公一地区研修リーダーのプログラム主旨説明と震災復興支援への考え方、安藤震太郎ガバナーエレクトの方針、地区より組織、予算についての発表、そして決議を行いました。ご出席の皆様の拍手を持って 2011-12 年度の地区組織、予算を承認頂きました。

また、例年地区協議会にて行われます直前年度のロータリー財団表彰を牛久保哲男直前ガバナーに執り行って頂き(受賞クラブ下記参照)、各委員会委員長より方針発表がありました。

縮小開催に伴い、講師をお招きしての基調講演は中止となりましたが、曾我隆一パストガバナーより RI 長期計画についてのご講演と、午後には牛久保哲男ロータリー財団委員長よりご講演をいただき出席者の理解を深める事ができました。

分科会では、第1分科会に「震災復興支援」をテーマとし、ロータリーに何ができるのかを話し合いました。各クラブの復興支援の具体的な事例発表が多くあり、大変参考になったようでした。第2分科会では幹事のみを対象とし、「クラブ幹事の役割について」の研修が行われました。

大学での開催という事で若い世代にもロータリーの活動を知っていただく事ができたほか、縮小開催ながらテーマが絞られ、参加者の真剣な姿が印象に残る地区協議会となったと感じております。

牛久保年度ロータリー財団の各種表彰

① 一人当たり寄付額の上位クラブ

1 位 渋川みどり RC 255.56ドル

2 位 渋川 RC 248.66ドル

3 位 前橋西 RC 239.03ドル

② 100%「財団の友」会員クラブ

■ 渋川みどり RC ■ 藤岡 RC ■ 沼田 RC

③ 「毎年あなたも 100ドルを」クラブ

■ 渋川みどり RC ■ 藤岡 RC

■ 沼田 RC ■ 高崎東 RC





第2840地区 2010-2011年度

恒久基金寄付に関する変更事項のお知らせ

ロータリー財団委員
委員長 高木 貞一郎

次年度 7 月 1 日からの寄付に関する変更事項をご連絡いたします。

- 1) 公益財団法人ロータリー日本財団が、新たに恒久基金の受け入れも開始することになりました。
これにより、ロータリー日本財団を通じてご寄付いただく、年次寄付、使途指定寄付、恒久基金は税制上の優遇措置の対象となります。振込先については添付ファイルをご覧ください。
新しい送金明細書は添付いたしましたので、各クラブへの連絡をお願いいたします。
- ※ (新) 地区補助金の返金、マッチング・グラント及びグローバル補助金の返金
ネクタイ / スカーフ、慈善年金につきましては、振込先が異なります。
日本事務局財団室 (03-3903-3192) までご相談下さい。
- 2) 確定申告用の領収書は、送金明細書の「寄付者名」に基づいて発行いたします。
例えば、「クラブ寄付(全会員 ×\$100)」と記入された場合、クラブ寄付となり、個人の寄付とはなりません。
個人の累計や税制上の優遇措置の対象にはなりませんのでご注意ください。
申告用の領収書は原則として再発行いたしません。法人の場合、株式会社の位置の前後などの表記にもご注意ください。
- 3) 公益財団法人ロータリー日本財団のウェブサイト (<http://piif-rfj.org/>) から、
レポートの情報や寄付書式を入手できるようになりました。是非ご利用下さい。
- 4) 現金の寄付でベネファクターになれる方は誓約書は不要になりました(即日より有効)。

寄付の種類

年次プログラム基金および使途指定寄付

- ・年次プログラム基金(年次寄付)

使途を指定しない寄付で、ロータリー財団のプログラムに使われます。

財団の友、毎年あなたも100ドルを(EREY)へのご寄付は、年次プログラム基金を指定して下さい。

年次プログラム基金へのご寄付は、シェア・システムの下、地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)になります。WFのみを希望することもできます。

- ・ポリオ・プラス(使途指定寄付)

「ポリオのない世界」の実現に向け、全世界的なポリオ撲滅活動を支援するものです。2007年12月から2012年6月30日までのポリオ・プラスへのご寄付は、ロータリーの2億ドルのチャレンジへの寄付となります。

- ・補助金(使途指定寄付)

承認済みの、マッチング・グラント(MG)、グローバル補助金(GG)への提唱者負担分寄付です。

個人寄付については、税制上の優遇措置やポール・ハリス・フェロー等の認証の対象となります。

- ・その他 災害復興基金など

該当の基金が設立された際はお知らせします。

恒久基金

元金は使わず、使用可能な収益のみを寄付者の指定に基づいて使います。恒久基金への寄付は、財団の未来を長期にわたり堅実なものとするために永遠に投資されます。

- ・収益の指定 - シェア

収益はシェア・システムの下、地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に分けられます。

地区はロータリー財団のプログラムに地区財団活動資金(DDF)を活用することができます。

- ・収益の指定 - 国際財団活動資金(WF)

収益の全額がWFとなり、使途はロータリー財団管理委員会で決定します。

- ・冠名基金—25,000ドル以上

個人の恒久基金のご寄付が25,000ドルに達しますと、寄付者の名前をつけて別個のユニットで運用します。

詳細は財団職員にお問い合わせ下さい。

(0511)

寄付の種類と認証

<寄付の種類と認証>

寄付の種類 認証(個人のみ)	年次プログラム基金	使途指定寄付	恒久基金
財団の友	○ 対象	× 対象とならない	× 対象とならない
ポール・ハリス・フェロー (PHF)	○ 対象	○ 対象	× 対象とならない
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF 1~8)	○ 対象	○ 対象	× 対象とならない
ベネファクター	× 対象とならない	× 対象とならない	○ 対象
大口寄付者 (MD)	○ 対象	○ 対象	○ 対象

<認証レベルと認証品>

ポール・ハリス・フェロー (PHF) ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF)

PHF	1,000 ~ 1,999.99ドル	ポール・ハリス・フェロー襟ピンと認証状 (メダルは希望者のみ有料)
MPHF 1	2,000 ~ 2,999.99ドル	襟ピン サファイア 一粒
MPHF 2	3,000 ~ 3,999.99ドル	襟ピン サファイア 二粒
MPHF 3	4,000 ~ 4,999.99ドル	襟ピン サファイア 三粒
MPHF 4	5,000 ~ 5,999.99ドル	襟ピン サファイア 四粒
MPHF 5	6,000 ~ 6,999.99ドル	襟ピン サファイア 五粒
MPHF 6	7,000 ~ 7,999.99ドル	襟ピン ルビー 一粒
MPHF 7	8,000 ~ 8,999.99ドル	襟ピン ルビー 二粒
MPHF 8	9,000 ~ 9,999.99ドル	襟ピン ルビー 三粒

ベネファクター Benefactor (恒久基金への寄付または誓約) 認証品は初回のみ

ベネファクター	1,000ドル以上	ベネファクター認証ピンと認証状
---------	-----------	-----------------

大口寄付者(MD) アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS)

MD レベル 1	10,000~24,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
MD レベル 2	25,000~49,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
MD レベル 3	50,000~99,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
MD レベル 4	100,000~249,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
AKS 管理委員会サークル	250,000~499,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
AKS 管理委員長サークル	500,000~999,999.99ドル	クリスタルと襟ピン/ペンダント
AKS 財団サークル	100 万ドル以上	クリスタルと襟ピン/ペンダント

(0511)

振込口座

国際ロータリーへの振込

(人頭分担金、比例人頭分担金、The Rotarian 誌購読料、資料代)

・三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244

口座名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

ロータリー財団への寄付 2011年7月1日から

☐ 公益財団法人ロータリー日本財団の口座

・三井住友銀行 赤羽支店 普通預金 3978101

口座名義：公益財団法人ロータリー日本財団

米ドル建の専用口座 (税制上の優遇措置対象外)

・三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 0100707

口座名義：Rotary International

※プロジェクト外の返金、ネクタイ / スカーフ、慈善年金の振込先については、
口座が異なりますので別途ご相談下さい。

(0511)

ロータリー財団への寄付


2011年7月1日より恒久基金も税制上の優遇措置の対象となります。

年次プログラム基金
 ポリオ・プラス
 恒久基金
 マッチング・グラント提唱者負担分寄付
 グローバル補助金提唱者負担分寄付
 その他の用途指定寄付

個人及び法人からの寄付は
 税制上の優遇措置対象

振込口座 **A**

三井住友銀行 赤羽支店
 (普)3978101
 公益財団法人ロータリー日本財団

 プロジェクトの返金、ネクタイ/スカーフ、慈善年金の振込先については、口座が異なりますので別途ご相談下さい。

(0511)



第2840地区 2010-2011年度

各クラブの広報活動報告

第1分区

前橋ロータリークラブ



長が10日朝、前橋公園で恒例の清掃活動をした。写真



時の話題
▽企業経営者らで組織する前橋ロータリークラブ（本田博己会

真。▽社会奉仕とクラブを広く知ってもらうことを目的に毎年実施している。参加したのは会員のほか、外国人留学生や前橋育英高インターアクト部の生徒ら計約80人。午前6時半ごろから約30分かけて園内の落ち葉を掃き集めたり、ごみを拾い、ごみ袋約40個分になった。

▽初めて参加した富田好治さん(62)は「活動はロータリー精神にかなない有意義。朝の清掃は爽やか」とこやかに話していた。

第1分区

前橋西ロータリークラブ

実施日時 平成 23 年 1 月 25 日 (火) 3 時 25 分～ 4 時 15 分

場 所 群馬県立前橋商業高等学校

担 当 峯岸祥子(社会保険労務士)

先年に引き続き卒業年度の前商学生 320 名に対して、「人生のセイフティネット」と題して社会保障制度の仕組みと給与明細の見方について、講演を行った。

受講の卒業生は、昔と違い3分の2が大学・専門学校進学、公務員の道へという状況で、就職組は3分の1だった。

授業では1年次の「現代社会」・3年次の「経済と法」で、制度については多少学ぶようではあるが、社会保険労務士による学校側の卒業間際の取り組みに対して、学生は私語も全く無く真剣に受講した。

今後の方向としても何の予備知識もなく社会にできることのないように取り組んでいきたい。



前橋西ロータリークラブ(黒字)と卒業生(白字)は7日、前橋商業高清水

社会福祉法人前橋あそか会との交流会

前橋西ロータリークラブ

会長 黒岩 千春

社会奉仕委員長 北澤 俊春

当クラブでは、知的障害者施設である「前橋あそか会」と、毎年1回(5月下旬)、当クラブの会員と前橋商業高等学校のインターアクトクラブのメンバーとで訪問して、入居者約100名と交流会を実施しています。

この交流会では、障害者の皆さまの社会性と心の豊かさ醸成の一助になればと考えております。

参加者一同、お互いに楽しみながら実施いたしました。

今年度につきましては、下記の通りです(今年で23回目)。

記

- 1. 日時 平成23年5月28日(土) 11:30 ~ 15:00
- 2. 場所 前橋あそか会(前橋市江木町)
- 3. 参加者 前橋西ロータリークラブ 20名
前商インターアクトクラブ 20名
あそか会入居者 100名 計140名

4. 実施内容

- ①ソフトボール
- ②室内競技
- ③カラオケ
- ④散歩

※参考 上毛新聞社記事

以上

前橋西ロータリークラブ(黒岩千春会長)と前橋商業高校インターアクトクラブ(佐々木理紗部長)のメンバー約40人は28日、前橋市江木町の知的障害者施設「前橋あそか会」を訪れ、ソフトボールや散策、室内でレクリエーションを通して、運動やレクリエーションを通して約100人の入居者と交流を深めた。毎年この時期の行事で23回目。参加者は屋外でソフトボールや散策、室内でレクリエーションやカラオケをそれぞれ楽しんだ。

2011年5月29日(日)
上毛新聞



ソフトボールを通して親交を深める参加者

3年連続の参加となった佐々木部長は「限られた時間の中で明るく元気に楽しみたい」と笑顔をみせた。黒岩会長は「入居者の方と触れ合うと私たちの心もさわやかになる。今後も続けていきたい」と話していた。

第1分区

前橋南ロータリークラブ

平成23年6月15日

前橋南ロータリークラブ

幹事 齋藤 三郎

広報 岩崎 宏行

奉仕活動の報告

前橋南ロータリークラブ(会長 小沼俊彦)は創立 26 周年、会員数 33 名と小さなクラブですが・・・
 温和で親密な団結力を持って、2 つのアクトクラブを提唱し支援を行っております。

(前橋南ローターアクトクラブ・中央高等学院インターアクトクラブ)

今回は、2 つの奉仕活動をご報告いたします。

①エコキャップ推進活動

会員が例会出席時に毎回キャップを持ち寄り、今迄にECOCAP推進協会に持ち込んだキャップの累計は 5 月 23 日現在、以下の通りです(2009 年 4 月より)

キャップ 182,240 個 ポリオワクチン 227 人分 CO2 削減 1,435kg

【捨ててしまえば社会のゴミ、ちょっとした気遣いで社会奉仕(還元)を実践しました!】

②友好クラブの被災地支援

いわき平中央ロータリークラブ(会長 猪狩武久)とは以前より友好クラブとしての関係を築いて参りました。

3 月 19 日北関東自動車道の開通により、立地的な問題は解決されると期待し訪問を計画していた 3 月 11 日東日本大震災が発生し、友好クラブの所在地周辺は大被害を受けました。

前橋南クラブは 50 万円の見舞金の提供を理事会に諮り、早速、見舞金の一部を送金し事態を見守りました。

その後、全会員が致命的な被害は避けられ、4 月 22 日より例会が開ける様になったとの連絡を受け、5 月 13 日代表の会員 4 名が見舞金を持参し例会出席して来ました。(いわき市周辺は津波と原子力による被害に直面していました)

いわき平中央クラブでは『原子力による風評被害が復興への妨げになっています!』と全国の RC に風評への冷静な判断・行動を求める葉書作戦、の活動を開始していました。

直面した事態に、友好と見舞金が両クラブの意義ある火種になることを念じております。

第2分区A

桐生南ロータリークラブ

台湾から桐生市に義援金

南ロータリー通じ復旧支援

台湾の新泰(しんたい)ロータリークラブから24日、桐生市に「桐生が元気になるように、震災復旧に役立てて」と義援金270万円が送られた。同クラブと姉妹クラブ関係にある桐生南ロータリークラブ(RC)を通じて送られたもので、受け取った亀山豊文市長も「海外から寄付をいただき大変ありがたい。震災復旧につかわせていただき」と話していた。

当日は桐生南RCの鈴木章弘会長と山根明幹事、同RCで国際ロータリー第2840地区アシスタント・ガバナーの川堀良治さんが亀山市長を訪問。義援金を手渡した。

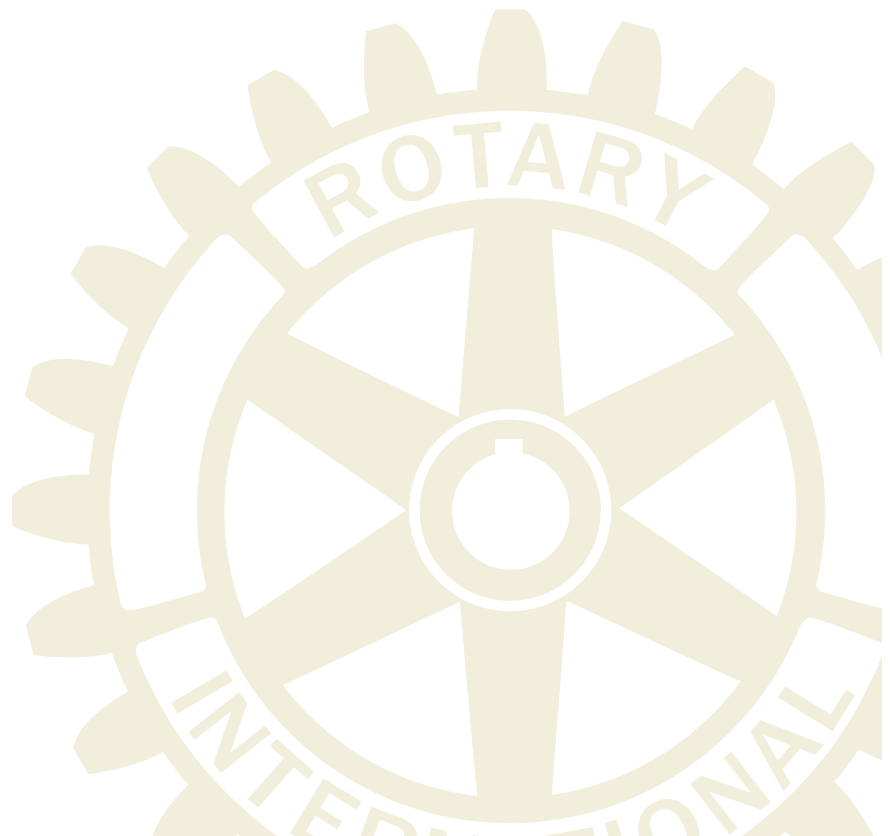
新泰RCは台湾の台北懸新荘市に所在。桐生南RCとは2006年に姉妹クラブを結び、以後、両RC会員が桐生と台湾を相互に訪問するなど活発な交流が行われているという。

鈴木会長によれば、東日本大震災の発生を聞いた新泰RCから義援金を贈りたいとの話があり、今回の贈呈となったという。

新泰RCからの義援金が亀山市長に贈られた(市長室)



台湾から桐生市に義援金 桐生タイムス(夕刊) 2011年5月26日



第2分区分A

桐生西ロータリークラブ



談話室には歴代会頭の肖像写真がすらすらと飾られている

「初めて入った」会員も 桐生西ロータリークラブで同クラブの定例行事を...

桐生商議所を見学 桐生タイムス(夕刊) 2011年5月14日

本社を通じて 北斗七星に寄付 桐生西ロータリークラブ...

北斗七星に寄付 桐生タイムス(夕刊) 2011年1月31日

オランダ在住ピアニスト・遠藤瑞香さん 福祉施設で楽しく演奏



かさかけの里のお年寄りに、ピアノ演奏をプレゼントする遠藤瑞香さん

の病院や福祉施設を 訪ねてピアノ演奏を...

福祉施設で楽しく演奏 桐生タイムス(夕刊) 2010年7月14日

桐生西ロータリー 優良職員を表彰 桐生西ロータリークラブは...



桐生西ロータリークラブが今年も開いた優良職員表彰(桐生プリオバレス)で

育病院の看護部長澤和代... 5月1日▽阿部忠孝(同、同8年)...

優良職員を表彰 桐生タイムス(夕刊) 2010年11月4日

桐生西ロータリークラブ 6年に京州大産学部...



RCの例会場で「点鐘」をする片貝良一さん

新しい活動をして いくさいと抱負を語...

新会長は群大名誉教授 桐生タイムス(夕刊) 2010年7月8日

第3分區
高崎南ロータリークラブ

インターアクト合同街頭募金

高崎商科大学附属高校のインターアクト部の皆さんと一緒に東日本大震災義援金募金を行いました。高崎セントラルRCの皆さん、高校からは生徒会のメンバーも参加して、高崎駅東口ペDESTリアンデッキにおいて、元気良く義援金の募金を呼びかけました。募金活動で思うのは、高校生の皆さんのひた向きさであり、募金をしてくれる方々の厚意であります。機会がありましたら、是非ともご参加をお勧めいたします。(川口)



東日本大震災避難者「友愛会」支援

東京電力福島第一原子力発電所事故によって半径20キロ圏内の一部地域が避難地区になりました。そのなかの宮崎町に、社会福祉法人 友愛会 指定障害者支援施設 光洋愛成園があり、現在は68名の入所者と職員31名が、国立重度知的障害者総合施設のそみ園の施設に避難されています。高崎南ロータリークラブは物的支援として、6月3日(金)、日用品をお届けするとともに、友愛会事務局長兼施設長の寺島利文氏に震災から高崎に避難するまでの経緯と現状、今後の支援への期待等のお話を聞かせていただきました。

震災の翌日に避難指示が出され着の身着のままでの避難だったこと、最初の避難所が一杯で受入を断られ、自力で避難先を確保し国立のそみ園にこられ、この施設の充実と援助にとってもありがたく感謝していること、そして、今後も継続的な支援や地域とのコミュニケーションの場が必要である事をお話されました。



◀寺島利文氏に支援物資を手渡す乾会長、佐藤修直前会長

第3分區
高崎北ロータリークラブ

車椅子バスケット応援

高崎北ロータリークラブ

高崎北ロータリークラブが、東京の「COOLS」(井田三義会長)は初の取り組みとして、25・26日に高崎市浜川体育館で開かれた「第21回日本選抜車椅子バスケットボール選手権大会」(大会会長、松浦幸雄高崎市長)を観戦、応援した。出場選手は病気や事故により障がいを負い、仕事の傍ら車椅子バスケットに打ち込む社会人が中心。全国から予選を勝ち抜いた16チームが出場、トーナメント方式で試合を行った。25日の第2試合には、地元高崎の「高崎マジック」が出場。10代から60代まで11人の選手



高崎マジックの試合を見守る会員(手前)

第4分区A

太田ロータリークラブ

上毛新聞 平成23年2月25日掲載

3年間の努力たたえる
太田RC 高校生25人表彰



竹内会長から表彰状と記念品を受け取る生徒

太田ロータリークラブ 婚式場で開かれ、市内ブ(竹内正幸会長)の七つの高校の優良高校生が、太田市内の結生25人を表彰した。

クラブの次世代育成事業の一環で、1959年から続く行事。3年生が対象で、学習やクラブ活動、生徒会活動などで他の模範となった生徒を表彰している。

竹内会長が「この3年間の努力を、これからの人生の大きな糧にして頑張ってほしい」とたたくえ、一人一人に表彰状と記念品を手渡した。

表彰されたのは次の通り。

▽太田高等養護 江泉孝幸、八木仁美▽太田 藤崎嶺共、大谷峻由、松本誠仁▽太田女学院 藤原麻実、小宮山愛、山本加奈子、茂木郁佳▽太田東 長井めぐみ、福島美音、岩崎仁美、藤本晴香▽太田工業 山崎智實、村田竜士、高橋賢人、加藤雅也▽太田市商 野村拓也、小島早恵、阿久津沙織、栗原まこと▽常盤 斎藤卓哉、関口麗華、齋藤純、大川友希

上毛新聞 平成23年5月28日掲載

駅ロータリーで除草とごみ拾い

太田ロータリークラブ(竹内正幸会長)は26日、太田市の東武太田駅前ロータリーで清掃活動を行った。

同クラブは1987年に創立30周年記念事業として、同所に国際ロータリーの本部(米国)から贈られたグ



ケイジュヤケヤキ、スノキ、サツキなどを植樹し「ロータリーの森」と名付けた。

これを機に、地域貢献と環境美化活動の一環として毎年この時季に同所で清掃活動を行っている。

今回は会員と、会員の企業の従業員ら約70人が参加。1時間近くかけて木々の間や花壇に生えた雑草を取ったりごみを拾い集めた。

太田駅前のロータリーで清掃活動に勤む会員

第4分区A

太田南ロータリークラブ

太田南ロータリークラブ

会長 村木 一夫
幹事 小暮 正男

ロータリー広報活動

今年度の特徴ある例会企画として、2月の世界理解月間にちなんでマンリオ・カデロ駐日サンマリノ特命全権大使を2月8日の当クラブ例会にお招きし、卓話を頂きました。その後、名誉会員清水聖義太田市長を表敬訪問され、上毛新聞に掲載されました。太田市とサンマリノ共和国との架け橋となると良いです。



村木一夫会長・マンリオ・カデロ特命全権大使

第4分区A

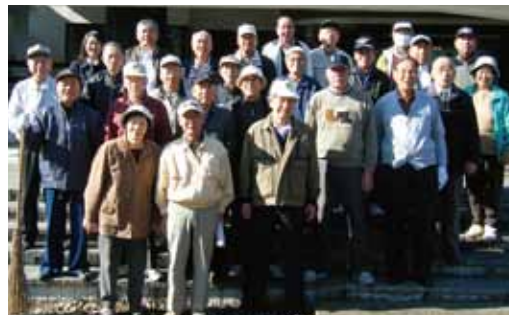
太田西ロータリークラブ

7月10、11日(土・日)太田西 RC 杯 OJIMA わんぱくサッカー大会



第 1795 回 12月9日(水)例会報告 (No.20)

太田西プロバスクラブと合同清掃 *歴史資料館*



五十嵐会員 プロバスで卓話



大変お疲れ様



第4分區B

大泉ロータリークラブ

第2840地区

大泉ロータリークラブ

川島 健一

「東日本大震災被災者との交流会」

大泉RCは、5月21日、東日本大震災で福島県内から大泉町内へ避難している家族を招き交流会を行いました。当日は、避難されている8世帯の内、3世帯9名が参加され、大泉町ボーイスカウトとガールスカウトの子供達の協力の下、総勢約100名が、昼食を取りながら、バランスゲームや連想ゲーム、替え歌などを歌い、交流を深めました。

参加された福島県浪江町の門馬順子さんは、大泉町が4ヶ所目の避難先。「ありがたい。避難できて良かった」と話されました。(5/22 上毛新聞掲載)

今回の催しは、川本慶子会長の地元へ避難されている方々に何か支援が出来ないか? という強い熱意により、理事会で検討を重ね、物資支援より、故郷から遠く離れた町で不自由な生活を余儀なくされている方々に、地元の人達との交流を通じて少しでも元気を取り戻して欲しいと企画しました。被災された方々の生の声を聞き、目で見て、肌で感じる事の出来た交流会は、ただ義援金を送るだけでは分かり得ない、ロータリアンとしての使命感と、充実感を強く感じた催しとなりました。



被災者との交流会



5月21日、町公民館で大泉ロータリークラブ & ボーイスカウト・ガールスカウトとの交流会が行われました。これは、震災の影響で大泉町に避難されている皆さんとの交流を図るもので、歌やゲームなどが催されました。



参加者から拍手で送られる避難者
 大泉避難者と交流会
 100人ゲーム楽しむ
 招待
 大泉ロータリークラブ
 ボーイスカウト
 ガールスカウト
 の有志が主催する
 大泉町に避難されている
 被災者の方々と交流を
 図るため、5月21日(日)
 大泉町公民館で交流会
 を開催します。参加費は
 無料です。申し込みは
 大泉町公民館(0249-22-
 1111)までお願いします。

第4分区分B

館林ミレニアムロータリークラブ

館林ミレニアムロータリークラブ

会長 十九浦 健治

震災後の支援活動として「小さな事からでも私たちに出来ることを継続して行きましょう」とクラブで情報交換をしながら活動をしています。


今回は館林市が5月29日に開催した「ふるさとづくり市民フェスティバル」において「緑のカーテン」支援を申し出、苗木の寄付を行いました。

当日はボランティアが種から育てたゴーヤなど約700株と館林ミレニアムロータリークラブからゴーヤと琉球アサガオの苗約300株が市民に無料配布されました。

あいにくの台風の影響の雨でしたが配布時間前より中たくさんの市民が並び1000株の苗配布は残らず終了しました。


当クラブのささやかな活動報告として写真を送らせていただきます。





お知らせ

本日、無料配布している「緑のカーテンの苗」は、館林ミレニアムロータリークラブさんからのご寄附(300株強)と、緑のカーテンボランティアさんが大切に大切に育てた(約700株)ものです。



<p>館林ミレニアムロータリークラブさんよりご寄附いただいた経緯</p> <p>今年の東日本大震災をより夏場の電力需要が心配されていることから、館林ミレニアムロータリークラブさんとして、今年の夏、市民の皆さんが節電等を行うにあたり、何か力になりたいという思いでご寄附いただくことになりました。このご好意を見習い、私たちにもできることを頑張りますよ！</p>	<p>苗を無料配布するために緑のカーテンボランティアさんが育ててくれました</p> <p>緑のカーテンボランティアの皆さんは、緑のカーテンを広めようと、いろいろな活動を行っています。その活動の一つとして、今回(ふるふで)皆さんに無料配布する苗を種から丁寧に育ててくれました。その数およそ700本！ボランティアさんの気持ちを無駄にしないよう、大切に育てましょう！</p>
--	--

皆さんのご家庭で、すばらしい緑のカーテンができますように♪

第5分区 沼田中央ロータリークラブ



21世紀の森 上毛新聞 2010年7月28日

**「21世紀の森」
周辺道路清掃**
沼田中央RCと
ポイスカウト
沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は沼田市と川場村にま
たがる県立森林公園
「21世紀の森」周辺の
道路で、空き缶やごみ
拾いを行った。

参加者はいくつもの
丁寧に拾い集めた。
同クラブの地域貢献
事業の一環、今年秋に
全国賞賜が開催され
る同公園と、関東自
動車道沼田インターチェ
ンジを結ぶ道路をきれ
いにしようと、会員と
1団の団員合わせて55
人が参加した。



カーミラーを置く参加者

**交通安全願い
ミラーきれいに**
沼田
沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、地域貢献の一環と
して、沼田市内を清掃
した。
会員18人とポイス
カウトの子供たち1人
が沼田公園に集合、市
内各地に分かれ、道
先にタオルを巻いた。道
具でカーミラーを磨
いた。こどもを格った
カーミラーの清掃
は初めてといひ、金井
会長は「今後も続けて
いきたい」と話してい
た。

交通安全願い 上毛新聞 2011年3月24日

沼田・利南東小6年生

箏で「さくら」弾けた
尺八の音「全然出ない」

沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、文化芸術を体験して
もらうことを目的とし、
市内の小中学校を訪れ
て、箏演奏の体験を行
った。沼田中央ロータ
リークラブ(二田会
長の)が、利南東小
が今年7月、三味線
尺八で演奏の体験
を行った。児童約50
名が参加した。

沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、文化芸術を体験し
てもらうことを目的と
し、市内の小中学校に
て、箏演奏の体験を行
った。沼田中央ロータ
リークラブ(二田会
長の)が、利南東小
が今年7月、三味線
尺八で演奏の体験
を行った。児童約50
名が参加した。



箏でさくら弾けた 上毛新聞 2011年5月21日

**吹割の滝で
撮影手伝い**
沼田中央RC
沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、観光客でにぎわう
沼田市利根町の「吹割
の滝」で、記念撮影の
シャッターを押す「シ
ャッターマン奉仕」を
行った。
旅先での楽しい思い出



吹割の滝で撮影手伝い 上毛新聞 2011年5月21日

理想の奉仕へ まい進

沼田中央 25周年で記念例会

沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、創立25周年を
記念して、市内の各
団体の代表者を招き
、記念例会を開催し
た。例会では、市内
の各団体の代表者
が、各自の奉仕活動
について報告した。



理想の奉仕へまい進 上毛新聞 2011年4月12日

**タオル750枚を
市社協に寄贈**
沼田中央RC
沼田中央ロータリー
クラブ(金井利夫会長)
は、地域貢献活動の一
環として、沼田市社
福協議会(宮崎嘉久
会長)にタオル750
枚を寄贈した。



タオル750枚を市社協に寄贈 上毛新聞 2011年2月27日

第6分区

藤岡北ロータリークラブ

会員の奥様方が「女性友の会」を結成し、様々な奉仕活動を行っております。

写真は、2010年12月22日に、高崎市新町にあります「福祉作業所 そよかぜ」にカラオケマイクを寄贈し、施設利用者に大変喜ばれました。





第2840地区 東日本大震災義援金報告

2011年6月17日現在

クラブ名	東日本大震災義援金額	参加人数	入金日	備考	姉妹クラブ名	東日本大震災義援金額	入金日
前橋	1,060,000	106	4/20				
前橋西	1,280,000	51	4/27				
前橋東	1,215,000	64	4/22				
前橋北	590,000	59	4/19				
前橋南	320,000	32	3/31・4/7				
前橋中央	660,000	33	4/14				
桐生	310,000	60	5/19				
桐生南	270,000	27	5/17				
桐生西	420,000	42	4/19		釜山新西面	69,887	4/19
桐生中央	250,000	25	5/12				
桐生赤城	270,000	27	5/12				
伊勢崎	990,000	70	5/12				
群馬境	340,000	34	5/13				
伊勢崎中央	640,000	64	5/12				
伊勢崎南	310,000	31	5/12				
伊勢崎東	350,000	32	5/20				
高崎	660,000	66	4/21				
高崎南	500,000	50	4/14				
高崎北	2,740,000	63	4/21				
高崎東	500,000	38	4/12				
高崎シンフォニー	400,000	40	4/14				
高崎セントラル	630,000	31	5/13・5/20		台北市華陽	1,000,000	5/13・6/9
太田	700,000	70	3/30				
太田西	110,000	11	4/22				
太田南	460,000	46	4/20				
新田	260,000	26	4/11				
太田中央	130,000		4/20				
館林	500,000	50	4/6				
大泉	330,000	33	4/19		マニラ101	146,857	4/19
					西馬山	496,000	5/27
館林西	180,000	18	4/12				
館林東	250,000	24	4/12				
館林ミレニアム	310,000	22	4/13				
渋川	1,000,000	60	4/18				
沼田	560,000	56	4/8				
草津	230,000	23	4/19				
みなかみ							
中之条	20,000		4/12				
沼田中央	550,000	55	4/21		台北南門	500,000	6/16
渋川みどり	390,000	37	4/27				
富岡	470,000	47	5/20				
藤岡	490,000	49	4/12				
安中	335,000	28	3/25・6/16				
藤岡北	220,000	15	4/6		東平澤	143,000	6/17
富岡中央	400,000	40	4/18				
碓氷安中	120,000	10	4/21				
藤岡南	180,000	18	4/12				
富岡かぶら	280,000	28	4/19				
合計金額	23,180,000	1811			合計金額	2,355,744	
総合計金額						25,535,744 円	
義援金送金	2011年3月25日	ガバナー会へ送金		5,000,000 円			
	2011年5月13日	ガバナー会へ送金		15,000,000 円			

 ガバナースタッフより
一年を振り返って

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 野村 品司

関口年度に続き 2 度目の地区スタッフです。ロータリーの綱領・理念に基づきやれたか反省です。3・11 の東日本大震災では、大変困難な状況ではありますが、職業奉仕理念で少しでも役立つよう願っております。

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 千木良 芳明

福田年度に副幹事として参加させていただきました。地区大会を担当いたしました。地区内外の多くのロータリアンにご参加いただきましたこと深く感謝いたします。また、手違いも多々ございましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。副幹事としては各ガバナー補佐様、委員長様のお手伝いを申しあげなければならないお役を頂戴いたしました。が、力不足で大変ご迷惑をおかけいたしましたこともあわせてお詫び申し上げます。

さて、当年度は準備期間を欠いており、ガバナーを支えなければならないスタッフとしては、地区内の皆様にもガバナーご人本にもハラハラさせることばかりであったと存じます。10 年前の関口ガバナー年度にもお手伝いをさせていただきましたが、10 年の間ロータリーの勉強を怠っておりましたので、地区の運営にも大幅な変化があったことを今頃気づかされました。周囲の方々からのアドバイス、ご支援をいただき、なんとか一年を終えることができそうです。

最後に悲しい出来事が 2 つありました。ひとつは 3 月 11 日に東日本大震災という未曾有の事態が発生し、ロータリーの関係者を含め数万の方々の方が亡くなられたことです。もう一つは敬愛する関口パストガバナーがお亡くなりになられたことです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大震災に関しましては、これからロータリーの本領が発揮されることと思いますが、年頭に福田ガバナーが提唱された『感性 (sensitivity) を磨き、誠実 (sincerity) 且つ簡潔 (simplicity) に、そしてロータリアンが結束 (solidarity) し、迅速 (speediness) に事に当る』という 5 つの『S』のフレーズが今こそ必要ではないかと強く感じております。一年間ありがとうございました。

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 平田 育夫

「一年間を振り返って」

この一年間を振り返ってみると、実に忙しい毎日でした。数々の行事に積極的に参加、協力して下さった地区内ロータリーアンの皆様に感謝申し上げます。

特に、青少年交換委員会の峯岸則幸委員長に於いては、プログラムの活性化、発展の為に献身的に奉仕され今後の青少年交換プログラムの更なる発展に寄与するものと思います。次代を担う若者に外国での貴重な経験を積んで貰う事は本人は元より、地域社会、日本の将来にとって意義あることと思います。

次年度以降、このプログラムが更に進化し有意義な事業と成る事を祈ります。世界社会奉仕委員会では、実質的な活動はできませんでしたが「原点に戻り見直す」と言う委員長のスタンスはそれなりの意義はあったと思います。

数々の行事に右往左往してしまった1年間でした。最後に次期安藤年度の活躍をお祈り申し上げます。地区内ロータリーアンの皆様「ありがとうございました。」

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 数納 篤紀

いろいろな人との出会い、いろいろな行事（研修 セミナー 講演 オリエンテーション）に参加させて頂き1年間有難うございました。皆さんに感謝申し上げます。反省するところも一杯ありますが、この経験を糧とし今後の奉仕活動に精進していきたいとおもいます。

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 片桐 保

福田ガバナー年度も残すところわずかになってまいりました。

1年を振り返って、特に印象にあるのは`地区大会`スタッフ及び前橋西クラブが一体となって開催できたことは大きな思い出となりました。

私の担当する新世代委員会では インターア外委員会、ローターア外委員会、ライラ委員会それぞれの各委員長の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

特に、3.11の東日本大震災の影響で、主要行事を中止した委員会、また、実施した委員会等ありましたが、それぞれ委員長の考え方を貫いたことに敬意を称します。

自分自身、多くの人達と出会い、大変貴重な体験をさせていただきました。

ご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

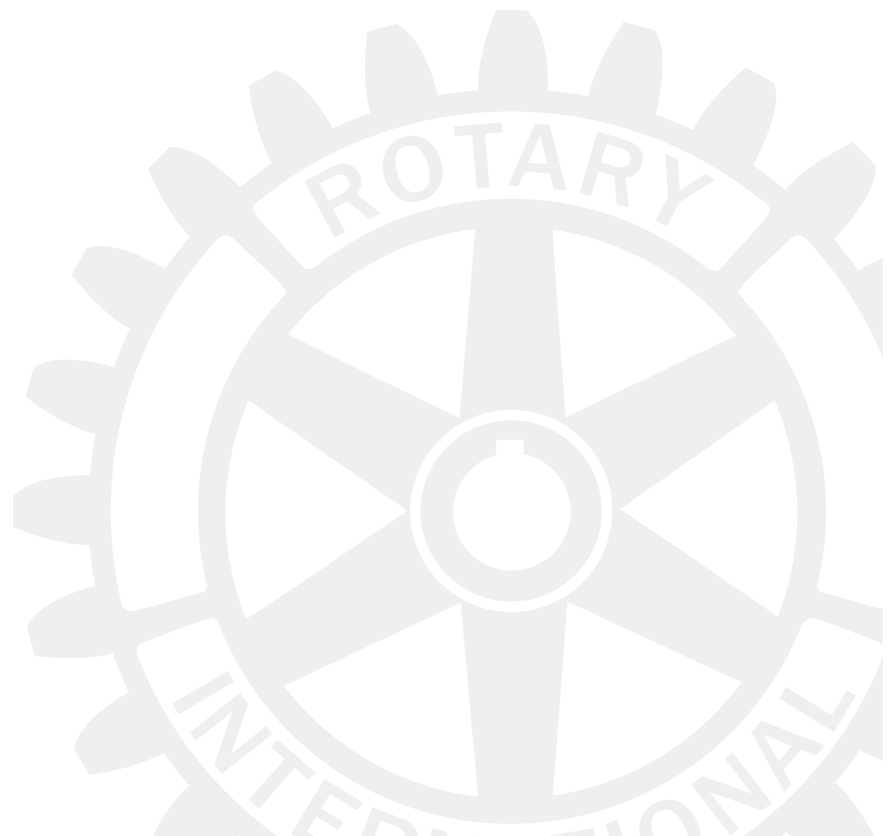
地区副幹事 清水 憲明

福田ガバナー事務所のスタッフとしてお手伝いをさせていただくようになりましてから2年が過ぎようとしております。地区役員の経験のない私が副幹事の仕事を何とか大過なく過ごせましたのは、町田地区幹事をはじめ他の副幹事の皆様や事務局の皆さん、そして何より多くの地区役員の方々のご協力の賜物と心から感謝しお礼申し上げます。また、担当させていただきました職業奉仕委員会、社会奉仕委員会の金井榮則委員長、疋田博之委員長、そして両委員会の皆様には特にお世話になり感謝申し上げます。地区協・セミナー・地区大会とロータリーに明け暮れたあっという間の2年間でしたが、副幹事の仕事を通して多くのロータリアンの皆様と出会え、知り合いになることができ大変良い経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

事務局員 萩原 麗子

昨年 5 月より急遽ガバナー事務所事務局員として務めさせて頂くことになり、右も左も分からない状態で福田年度がスタートし、日々の仕事をこなすのが精一杯でした。一年を振り返りますと数々の失敗や至らぬ点ばかり思い出され、いかに会員の皆様、クラブ事務局の皆様の温かいお心で支えて頂いていたかを痛感しております。またガバナーをはじめスタッフの皆様には一からご指導頂き、互いが手を取り合い、助け合う姿から『奉仕の精神』を学ばせて頂くこともできました。一年間、本当にお世話になりました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。



国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

地区副幹事 月信担当 黒岩 保弘

編集後記

RID2840の各クラブ会長・幹事さん始め会員のみなさん一年間ありがとうございました。

月信はガバナーメッセージを中心に、地区幹事、地区からのお知らせ、今後の予定等を掲載するようにいたしました。各種セミナー・各委員会等の報告事項はできるだけホームページを活用し、皆様に報告いたしました。

HP上では管理運営委員会・IT委員会を中心として、「クラブ支援情報」、「IT意識アンケート」、「トピックス」、各クラブの支援や活動状況を掲載いたしました。

3月震災以降はHP上で「東日本大震災関連」として義援金・活動等に関する情報をできるだけ早く各会員に伝えるため掲載することといたしました。しかしながら、福田ガバナーが提唱する「情報の双方向化」は月信・HPにおいては一方的な伝達になりがちで、情報の伝え方の難しさを痛感いたしました。

ともあれ、最終号が迎えられました。みなさんに感謝・感謝です。ありがとうございました。

